# 京城日報

廿九日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]


[illegible]

## ◎和戰の討議一致せず

北京政府にては和戰兩方面の討議未だ一致せず從つて段祺瑞將軍の如きも就任を躊躇し居れり（北京特電）

## ◎廣東愈獨立準備著手

南北調停の任に當るべしと傳へられたる廣東將軍龍濟光は陸榮廷の決定的回答催告に接し愈々態度を決し獨立の準備に著手せるを以て近く廣東獨立の宣布をなすべしと（東京特電）

## ◎在支英人の時局觀

支那在住英國人は一般に時局收拾上此際袁總統の退職は已むを得ざる可しと認め居れり（東京特電）

## ◎聯合七箇國の大會

### 伊國首相外相の出席

巴里來電に曰く二十日間に亙る可き聯合七箇國の大會は二十七日ケードルセー宮の大廣間に於て開始せられたり日本は松井大使に由り代表され居れり會議の條項は秘密に附せられ居るも各戰線に於ける兵力に關する問題並に巴爾幹に對する方針の決定等重なるものなるが如し獨逸は伊太利を此の會議に出席せしめざらんとしたるも伊國が之に應ぜざりし事一般に知れ渡り二十七日伊國首相及び外相は出席の途上群衆の喝采を博せり（紐育電報）

## ◎商船擊沈

英國汽船ミネヤポリス號は地中海に於て水雷を受け十一名の溺死者を出だせり同號には多分サロニカに上陸す可き英國軍隊搭乘せる筈又同日一日間に於て三隻の聯合國小汽船擊沈せられ乘組員九名行衞不明なり（紐育電報）

## ◎皇后御發輦

皇后陛下には廿九日畝傍山陵御參拜の爲東京驛御發輦御機嫌麗はしく御西下遊ばされたり（東京電報）

## ◎四鄭鐵道資金引受

四平街鄭家屯鐵道敷設資金は橫濱正金銀行及び東京銀行團共同にて調達する事を引受け利子は五分と決せり（東京電報）

## ◎郵船保證引上請求

日本郵船會社は政府の保證率を九割に引上ん事を其筋に請求せり（東京電報）

## ◎中牟田子重患

樞密顧問官海軍中將子爵中牟田倉之助氏は依然重態なり（東京電報）

## ◎山縣政務總監

山縣政務總監は連絡船弘濟丸にて廿九日午前釜山著鐵道ホテルに休憩の後同十時三十分發列車に搭乘歸任せり（釜山特電）

## ◎帝政取消と滿洲

### 吉林方面の不穩

支那の帝政取消につき在大連の支那人が歡喜の聲を揚げ中には祝杯を舉げたる向もあることは既に電報を以て報道せし所にて勿論總體にはあらざるも彼等の多數が帝政取消を喜びざるは確かなる事實なり但し之を喜ぶは共和主義者の讀書人乃至その一派のものを除き多數は之がために南支の動亂平定し

▲商業上好都合なる結果を招くべしと思惟せるに依るものゝ如く强ち帝政其物を非として其の取消を歡迎せしには非ざるに似たり大連以外各地の支那人に至りては其の多數は固より帝政にても共和政にても政體の如何は毫も之れを問はず其の適否如何を識別する程の能力も有し居らず唯彼等が何となく帝政を忌避するらしき模樣あるは之が爲に增税又は新税附加を强ひられ生計に一層の難を加ふべしと考へ居るが爲にて現に帝政籌備と共に東三省にても種々の名目の下に課金を强ひられたる事實あれば帝政實施後の負擔に就て彼等が危懼心を懷きたるも無理ならず相當に門戶を張れる商人の如きも帝政は徒らに

▲我々人民の負擔を加重せしむるに過ぎずと云ふて苦情を唱へ居たる程なりされば當日、奉天の一部、長春、鐵嶺、安東等に散在する支那人の多くは此次の帝政取消に對し言葉の手前を憚かり大連に於ける支那人の如く公然歡喜の情を表せざるも內心は何となく之を喜び居る樣子なり因みに滿洲にも革命黨の入り込み居るは事實なるが吉林の如きは最も革黨員の多數入込める處にて人心動搖し不穩の形勢あり將軍公署及び巡按公署は之が爲め門前の步哨を增加し交通を遮斷し汽車の乘降客に對して身體檢査を行ふなど頗る嚴重なる取締をなし奉天にても舊國民黨員の舉動に對し嚴戒を加へつゝあり（大連）

## ◎總督邸晩餐會

寺內總督は二十九日午後七時より入京中なる伊集院大使を官邸に招待し晩餐の饗應あり總督府よりは各部長官局長等陪席す

## ◎駐伊大使入京

伊集院駐伊大使は既報の如く廿八日夜釜山を發し廿九日午前七時四十七分水原に下車したるが同驛には本田模範場長の出迎あり共に本田氏宅に赴き模範場の視察を爲し午後零時卅九分同驛發午後二時廿五分南大門驛著入京朝鮮ホテルに一泊の上卅日午前七時十分發鮮滿直通列車にて北上の筈なり

## ◎政務總監歸任

山縣政務總監は遠藤秘書官及び宍戶屬を隨へ二十九日朝釜山上陸、午前十時發列車にて北行午後九時三十分南大門驛著歸任す可し

## ◎新師團長著任

新任木本師團長は二十九日午前八時四十分龍山驛著來任、直ちに師團司令部に入り伺候式を了へ、井口軍司令官を訪問し更に午後四時寺內總督を官邸に訪ひ新任の挨拶を爲せり

## ◎探り合ひの歐洲交戰國

### 自他共に理解し得ぬ支那の國情

……伊集院大使談……

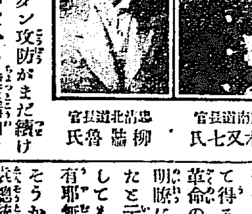
駐伊大使伊集院彥吉氏は赴任の途廿八日夜釜山を發し廿九日午前七時四十七分水原に下車したるが途中記者に語つて曰く

▲伊太利への道 任地伊太利に行くには今の處では矢張り西比利亞を通つて露都經由で行くのが一番近い其れに露西亞許りで無く北歐の瑞典、英吉利、佛蘭西、瑞西あたりも中途見物して行く積りだから特に此道を選んだ譯なのだ初め米國經由で赴任しようとも思つたが今云ふ如く國見物の爲めに此道を選んだ樣なものである

▲媾和は何の日か 歐洲の戰爭もいゝ加減續きはしたものゝまだ却々先が知れない獨逸のヴェルダン攻擊が成功すれば媾和の風が吹くかも知れないと云ふ噂だつたが噂許りで本當のヴェルダン攻防がまだ續けられてると云ふのだから鳥渡媾和でも無からう獨逸の宰相が駐獨米國大使の賜暇歸國を引留めたとか既に媾和仲介を依賴したとか云ふ噂も立ち獨逸側の意嚮と云ふ樣なとも傳へられた、さうかと思ふと佛蘭西の藏相が媾和の緒が發見されたと云ふ樣な演說をしたと云ふ事が傳へられて來る然しどれも是れも皆信を措くに足りるものと言つては無い詰まり交戰國が互に其心中の探り合ひと云ふ [illegible] なのだらう最近に英國から米國迄の汽船會社に注文してゐた商船の見込がついたから破談して來たなど云ふ評判についても全く [illegible] 聯合國の師の仕事だ論ずる迄も無く聯合同盟の兩交戰國共可成り疲れてはゐる然し今四つに組んだ處なのだから何かの機會が無くちや媾和と云ふ譯にも行かない然も今其好機と云つて捉まへるものが無い結局媾和の見當も立ち兼ねると云ふものだ

▲混沌たり支那問題 支那の問題？此問題に至つては更に不明瞭だ一體支那程不可解な國は無い當なる日本の支那通が皆觀測を誤つてゐる否や啻に日本人許りで無く支那人自身さへも充分に解つちやゐないと云つてもいゝ位だ餘り入込み論じ立てられても困るが兎に角支那は自他共に無理解の國なのだ最近に於て南北の妥協が成立するや否やと云ふ問題など殆んど成算を立て得る者は無からう第一革命、第二革命の妥協と結果とを見れば其處に明瞭に支那人自身支那を知らなかつたと云ふ事が判明する今度の革命にしても第一、第二の革命の樣に結局有耶無耶の妥協に終るかも知れないそうかと思ふと南方の氣勢頗る昂つてゐる樣でもあるから今後どうなる袁總統に對し絕對に排斥的態度をとるか無論判明しない然し一體支那人自身が徒らに苟安に處したがる風のあるのが不幸を招く原因で多少の犧牲を拂つても根本的解決をしようと云ふ氣になれないからなのだと思ふ結局する處支那人にしても日本人にしても支那問題に對してもつと〳〵本氣にならなければ嘘だ事實眞劍に爲る價値のある大問題なのだ

## 新任道長官



全羅南道長官 宮木又七氏 ・ 忠淸北道長官 柳赫魯氏

## ◎水道主任會同

總督府にては四月二十四日二十五日二十六日の三日間內地各水道主任を召集し [illegible] 第二會議室に於て [illegible] 內務長官 [illegible] に水道主任會議は從來水道所在地に於て順次開催され居たるが本年以降は每年一回總督府內に開催さるゝこととなれり

## ◎職員研修會例會

總督府職員研修會第六回例會は既記の如く二十九日午前八時三十分より總督府第二會議室に開會、上林山林課長の酒の話、弘永屬の指紋に就きての講演ありて九時三十分閉會したるが當日は寺內總督以下各部長官、局長、高等官並に甲班に屬する判任官等二百數十名參集したり

## ◎隊署長會例會

京城府內各隊署長會議は例會を二十九日午後一時より警務部に於て開會諸種の協議 [illegible] ありたり

## ◎記念章傳達

總督府にては三十日午後二時より總督府及び所屬官署高等官約百名を第二會議室に召集、寺內總督より御大典記念章を傳達する筈なるが判任官は各部長官及び官房局長より傳達し、又民間二百二十餘名に對しては道長官より傳達す可しと

## ◎歸還部隊出發

朝鮮派遣部隊第二聯隊第一中隊 [illegible] 氏引率の下に廿八日午前 [illegible] 京城發 [illegible] 九日午前九時 [illegible] 込み同十一時 [illegible] 歸還の途につけり因に同歸還部隊は步四七（小倉）步一三步六（名古屋）步七二（大分）步二四（福岡）なり尙同船中には關東州 [illegible] 步六八（名古屋）步五一（津）の三百名を搭載し [illegible] 守備隊一部七十二名も同乘せり（釜山）

## ◎永興灣防備隊引揚

永興灣防備隊は竹敷防備隊と共に今三月三十一日限り廢止さるゝ事となれるが聞く所によれば同隊廢止後約一箇月間は殘務の整理を行ひ四月二十四日海軍工作船關東丸の入港を待ちて全部引揚げの豫定にて目下同防備隊に於ては建設築造物及び殘品の整理引揚げ準備に忙殺せられつゝあり而して現在の各將士は何れに就任するやは未定なれども殘務の整理等に當る爲め將來何等の任命に接せざるもの [illegible]

## ◎仁川瓦斯發起人會

二十七日午後四時より仁川俱樂部に於て開催の筈なりし仁川瓦斯會社創立發起人會は都合により二十九日同時刻より開會の事に變更認可申請に關する件、株式割當、創立委員の選定、創立事務所設置等の諸事項に就き協議を遂ぐ

## ◎鮮人の小學校入學

來四月一日 [illegible] 開校す可き府內七小學校に [illegible] 入學の許可を得たる者は十三人なる [illegible]

## 轉任せる道長官

慶尙北道長官 李軫鎬氏 [illegible] 工藤英一氏

## ◎茂山隧道貫通

咸鏡線中の難工事たる茂山嶺を貫行すべき七箇の隧道中第二に長き延長たる第五茂山隧道（延長二千二百九十八呎五八）は廿八日午後四時貫通

## ◎咸興の電燈進步

咸興に發電所の計畫ある處北咸興有力者が他地方企業家と提携し其の筋に出願中なりし咸興電燈會社設立に就き道、回漸く警務部を經由し咸北道廳に回附し來り居れば近々認可さるゝに至るべく會社は資本金四萬五千圓にして發電所は咸興面中里に設置し原動力は吸入瓦斯力七十馬力電氣供給區域を咸興面一圓とせり而して出願者は落合金男太（東京）、谷口小次郎（京城）、小原爲（釜山）、寺本幸太郎、米村彌一郎、森坂芳太、濱田英穗、金忠熙、李敬燁、高敬必（咸興）の十名也と（元山）

## ◎商議所事務所賣却

元山商業會議所 [illegible]

## ◎東拓株底値か

香臘內地株式界好調なりし頃一時九十七圓に迄騰せる東拓株も頃日株熱下火となり加ふるに東拓法改正案の下院にて握り潰されし等の爲め人氣落ち二十六七日の所漸く六十二圓を保ち居れるが此邊が底値ならんと

## ◎辭令

道長官の異動に伴ひ前宮木關稅課長の後任として三月二十八日附左の如く辭令ありたり

朝鮮總督府事務官 水口隆三
任關稅課長

## ◎佛教中央學林修業式

朝鮮側學校なる私立佛教中央學林に於ては三十一日午後一時より同學林豫科修業式を舉行す可しと

## ◎倉知氏夫人永眠

日支興業會社副總裁倉知鐵吉氏夫人は豫て病氣中の處藥石効なく二十八日東京の自邸に於て永眠したり

## 元山

▲鐵道と旅客 四國の山は纔かに僅かに白雪を戴くのみ漸く陽氣の回復するに伴れ一般旅客中殊に今春は內地に遊ぶ者多く爲めに昨冬來靜かなりし元山驛も漸く增加に於ては昨今旅客の出入著しき增加を示しつゝあり

▲府來年度豫算 元山府大正五年度に於ける歲入出豫算は [illegible]

▲守備隊檢閱と慰勞休暇 元山守備隊の新兵敎育第一期檢閱は [illegible] 第九師團參謀 [illegible] 二十五日の兩日に亘り施行終了せり

▲旅團長歸任 元山守備隊檢閱終了後京城を經て [illegible] 旅團長は廿七日午後二時元山 [illegible] の須磨丸にて歸任せり

▲憲兵補助員採用試驗 去る二十五日に施行されし元山憲兵分隊に於ける憲兵補助員採用試驗は志願者五十餘名に對し試驗の結果合格者廿七名なりしが今回の採用定數は十五名にて之等採用人名の發表は三月三十日なりと

## 光州

▲軍隊歡迎會 光州官民四百餘名は二十六日午後一時より公園地に於て新着守備隊の歡迎會を開き工藤道長官は主人側を代表して歡迎辭を述べ高守備隊長は謝辭を述べ後ち宴を開始し主客歡談湧くが如き程なりし

▲光州學校組合會 光州學校組合は二十六日午前九時より大正五年度の豫算會議を開くべく來年度の新歲入は一萬三千餘圓にて事業は學校增築、火葬場建設等なりと

▲商工會議員選擧 光州商工會は二十四日議員定員十名の改選を行ひ一山川商司、相川保三、伊藤紫加藤三郎、魚谷興藏、朝倉重次郎の諸氏當選したるが後ち議員會を開き會長に占野辛市、副會長に魚谷興藏、常議員に松井理三郎、鹿野秀三の諸氏を推薦した

▲農學校卒業式 光州農業學校は二十五日第五回卒業式を舉行し佐藤校長は卒業生二十四名に對し卒業證書を授與し工藤長官、浦野警務部長、鈴木署長等祝辭を述べたり

▲米穀更新計畫 本道は大正五年度より米穀の更新計畫を立つる筈にて種苗場に元原種田を設き玉錦、穀良都、早神力、高千穗等の優良種子を郡原種田に配布すべく而して郡原種田は面採種田に、面採種田は一般農家の播種々子として優良種の退化を防ぐべく來年度の面採種田は四百九十町步なれば此れより收穫する種子は大概二萬町步に播種して全南の優良種作付反別の見込高九萬町步を四個年間にて更新せしむべしと

## 大邱

▲慶北麥作前途 慶北各地に於ける麥作は昨冬比較的温暖なりし爲め過育の傾きありたるに近來氣候不順なるが爲め多少發育を害する虞なきに非ざれども今後の氣候さへ順調ならば昨年より不作の事はなかる可しと觀測さる

▲慶北廻米品薄 目下米價保合の爲め各鐵道沿線共に廻米品薄にて各米穀檢查所中最近最も多く廻米ありしは金泉にして是に次げるは慶山なるが地方貯米は一部大地主を除く外皆無なり過日仁川の張吉相が倭館に於て古米の手合をなせし以來目星しき取引なし當分現狀維持にて推移すべしと

▲義城安東間道路改修 慶北義城安東間道路は路幅取擴けの必要あり來月五日頃より工事に著手し遲くも六月下旬迄に全部の改修を了すべしと

▲小牟田署長歸署 金泉より慶南居昌地方視察中の小牟田大邱警察署長は廿七日歸署す

▲吉田道事務官歸廳 浦項、盈德、英陽、青松地方巡視中の吉田慶北道事務官は三十日歸廳す可し

▲岸道技師歸廳 [illegible] 出張中の岸慶北道技師は三十日歸邸すべし

▲宮松慶北道技手歸廳 [illegible] 中の宮松慶北道技手は二十八日歸廳す

▲慶北郡書記異動 [illegible]

▲高女入學試驗合格 [illegible]

▲慈仁學校組合豫算 慶北慶山郡慈仁學校組合五年度に於ける豫算は歲入出共六百五十圓にして [illegible] 前年度に比し二十圓の減額なり

▲青松學校組合豫算 [illegible]

▲榮州學校組合豫算 [illegible]

▲義城學校組合豫算 [illegible]

## 釜山

▲東萊郡蠶業界 東萊郡の蠶業界は比年發達の良好を見るが大正三年度は桑苗四萬本に蠶種二十枚なりしに四年度にては桑苗八萬本に蠶種五十枚本年度の如きは桑苗十六萬本に蠶種百枚に達せり逐年倍數を以て算せるは之れ全く當地方は蠶業地として好適なると當局者の獎勵の宜しきを得たるに由る可し

▲釜山商議役員會 釜山商議役員會は二十七日午後開會したるが商工俱樂部の建設の件は設計に多少の變更を加へ來る三十一日午前十時より氏名入札に附し契約後四十日間に竣功せしむる事に決議せり

## 人事消息

▲阪東勘五郎氏（代議士） 二十九日朝入京、直に元山へ

▲若尾弘沖氏（鐵道局參事） 政務總監出迎の爲め二十八日夜發釜山へ二十九日夜歸任

▲綾田金南技師 慶北米穀改良狀況視察の爲め二十七日釜山に赴く

▲香椎源太郎氏（朝鮮瓦斯電氣會社長） 社用にて東上中の處二十八日午前歸釜

▲松寺竹雄氏（京城地方法院檢事正） 廿八日開城より歸京

▲中山勝之助氏（大邱覆審法院長） 廿八日入京

▲高武公美氏（全羅南道事務官） 打合上の用務を帶び二十九日朝入京本府に出頭せり

# 軍國主義は世界を風靡した

## 尊ぶべき朝鮮二個師團增設

### 新任第九師團長橋本中將談

二十九日午前八時四十分龍山着任の第九師團長橋本陸軍中將は途に訪問へたる記者に引見して曰く

師團長に成つたはいゝが來月の八日からは師團長會議があらうと云ふのに自分の管下の師團が如何なる狀態にあるかも知らないでは話が出來ないから鳥渡容子を見に來たのだ

◇騎足で視察して

來て直に東上するが往訪が濟むと今度は御親閲に來なければならない頃に新師團が出來たのでもう言ふ迄もなく歸還するのだが隊の配置は四月の中旬から下旬にかゝるだらう駐劄軍司令部の存在に名義は變るにしても總督に兵馬の權が附與されない限りに必要だらう稍一定樣成つたとすれば總督府內に幕僚を設置しなければならないしするから經費の上から言へば

□それにあのと同樣の　□佐藤軍司令部も存在

の費用は要る譯だ大正十年以後師團が完成すると同時に軍司令部が廢止されるのか怎か其後は怎なるものか我輩は知らぬ兎に角我輩は懸案であつた朝鮮二個師團設置の決定を喜ぶと同時に何故に增師が必要であるか、何故に軍國主義でなければならないかに就て國民が一步進んだ頭腦を持ち得る樣に軍國主義の研究をやつて貰はねばならないと思ふ軍國主義が何故に必要か是れ、今更に說くべき事でもあるまい或る論者は曰く

◇獨逸の軍國主義

は世界の文明を破壞し呪咀したものである歐洲戰爭の終局は獨逸の軍國主義を顚覆せしめ得た時でなければならぬ而して其後の世界は世界から軍國主義を一掃して永世の平和を見る事を得たならもしれぬ——と然して現在に於ける歐洲戰爭の狀態は各戰線に於て獨逸の軍國主義に優位を占領されてゐる而して之に對抗すべく英國には徵兵制が實施され米國には陸軍擴張案が大統領によつて唱へされてゐる此偉大なる事實の物語る處は

□平和論者も

してゐる「獨逸の軍國主義が世界を毒するのは獨逸が其用途を過つたからであつて決して軍國主義其もの、罪ではないと蜷川博士の軍國主義は說いてゐるが兎に角正に世界は軍國主義に風靡せられてゐるものである而も歐洲の戰爭は何時終熄すべきものやら今の處判斷もつかないが彼の

ヴェルダンの戰後に媾和が持出され相だなど云ふのは信ずるに足り無い事だヴェルダン戰爭には全く獨逸の主力が向けられてゐるらしい今尙攻擊の手を緩めないから今後尙發展の餘地が無いとは言へない

◇ヴェルダン要塞

は人も知る如く白佛戰線中に於て恐らく最も堅固な要塞と云つていゝだらう佛國にとつては最も重要な地點だからこそ最も堅固にしてあるのだ無論他に幾千も虛弱な地點がある然し夫等戰術上容易に手に入る地點は戰略上要みを爲さぬヴェルダンは實に戰術上戰略上共に堅固に重要な地點であるのだ獨逸は勿論夫れを百も承知してゐる承知してゐるからこそ

□多大の犧牲を拂つても　□破しようとした

るのだヴェルダンが突破されると巴里はすぐだヴェルダン戰の注目されるのは其故である。獨逸軍は兵力が少くして大勢力たらしめ得る設備してあるのだからヴェルダン要塞に敵の主力が迫つて來たのに抵抗せしめる爲めに佛軍が又之に兵力を集中しなかつたのは言ふ迄も無い事だ其故を以てジョッフル將軍を賞揚するのも餘り當を得てはゐない而も

◇要塞は野戰場

の樣に讀くもないのだから其處に野戰隊を入れた處で役にも立たない道理だ恐くてヴェルダンの戰も今の處鳥渡見當がつき兼ねる譯だがヴェルダン要塞戰さへ恁の如く況や歐洲戰爭の今後は未だ如何樣に展開するか知れない只今日の處日本の位置としては其經過に注目し其結果に對する用意をして置かねばならぬ支那の問題は歐洲の問題より尙見當がつかない

□南方の頭目は大抵

蔡鍔だとか李烈鈞だとか云ふ

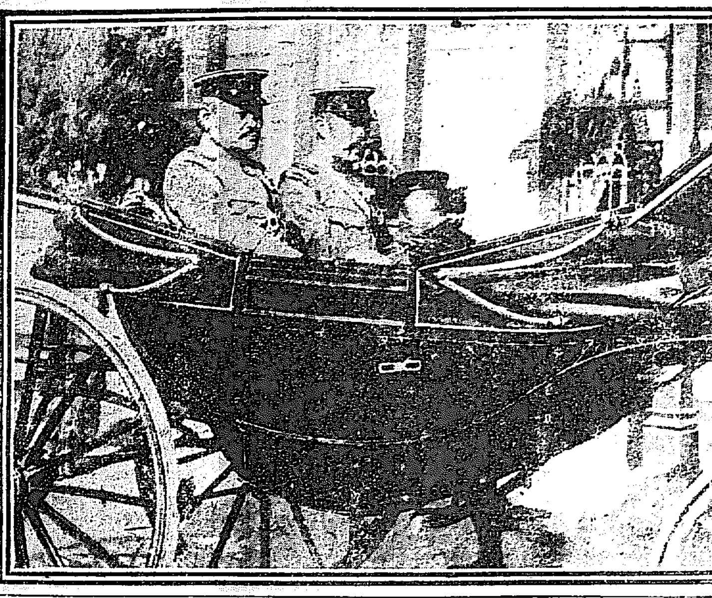
□我日本の士官學校出

だけれど我輩の校長時代はズーッと後だから彼等を敎へたと云ふ樣な關係はない南方既に然りだが北方の將校連中にも日本で軍事敎育を受けた者が澤山ゐる同窓生だつた日本の士官が漸く少佐位になつてゐると支那ではもう大佐位に成つてる同じ學校で受けた敎育に依つて南北に別れて戰爭してる譯なのだが恰で演習だ此演習が如何に片付くか

◇今日に於て想像

して斷定する事は頗る困難だ

傳へられる愛國が如何に發展すべきか其結果は如何に成り行くべきか頗る注目に値ひする茲に於ても我輩は日本國民たるもの大に奮發して軍國主義の現在及び將來に就き充分に研究して置かねばならぬと言ひ度い



龍山驛前に於ける橋本中將（向つて左）

## 浦港解氷

### 例年に比し約十日早し

本年は比較的氣候溫暖なりし爲めか浦鹽港の解氷も例年に比し約十日間其の期を早め二三日前日本海一帶に吹き荒みし强風は浦港內の流氷を悉く港外に流出してポセット灣外に吹き流したるが若し今後遲寒の襲來する事無くば再び結氷を見ることなかるべし因みに最近の調査によれば浦港の解氷期は例年四月三日より十日迄の間なりと（浦潮特電）

## 橋本新師團長の著任

### 廿九日朝の龍山驛

新任第九師團長陸軍中將橋本勝太郎氏の著任すべき二十九日朝の龍山驛前には同師團所屬の步兵第三十九聯隊、騎兵第九聯隊第七中隊の將校下士卒約千餘名は

▲威儀を正して　著車を待ち受ける、その他は驛前廣場兩側より郵便局横師團司令部通路に及ぶ著車定刻の近づくや寺內總督代理として白井少將、軍司令官代理として古海軍參謀長、矢島軍醫部長、井手軍經理部長、張性根、李熙斗各參將、岡本師團參謀長、大江日報社長、由形大佐、陸軍大佐、佐藤衞戍病院長、其他永井事務官、稻垣工務課長、金谷府尹、野田東拓副總裁、井上同理事、岡京管事務、阿部本社長其他軍人及び師團關係者

▲京龍官民有志　出迎への人々相踵いで步廊に參集した斯くて新師團長を乘せたる列車が定刻八時四十分に著車すると前部一等室から其の勇姿を現はしたので出迎の人々は一齊に敬禮した

▲貴賓室に入り　出迎者と挨拶を交したる後步を運びて驛前に整列せる塔列兵に擧手の答禮をなしつゝ馬車に乘り師團司令部に向はれた

## 漢江を荒せる海賊逮捕さる

### 船夫二名を激流中に投げ込む

黃海道延白郡月川面の金容德（三二）は同面の船夫劉學春（四五）及び李春元（二〇）の兩名を雇ひ籾三十餘石を一隻の帆船に滿載して龍山に向け漢江を航行の途中昨年十二月十日夜金浦郡の漢江岸に假泊中怪しき一隻の小舟にて同船に漕ぎ著けたる者あり恰かも龍山より金容德一行を出迎へたるが如く裝ひ該籾船に移乘して雜談中船夫等の油斷を見澄まし突然小刀を擬して脅迫したる上荒繩を以て三名を縛し李春元劉學春の兩名を漢江の激流中に投げ込み最後に金容德をも投入せんとしたる一剎那該船尾に當り一隻の帆船來合はせたるより賊等は狼狽し李春元を其の儘に放棄し一物をも强奪し得ずして急遽小舟にて逃走して行衞を晦ましたり、急報に接したる高陽署にては安藤署長以下全力を擧げて犯人搜查中本月二十四日東幕里在所河崎巡查の手にて逃走者を悉く逮捕し得たり該報に接したる被害者の遺族等は高陽署に集まり淚を流して喜び居たりと

## 内地で捕はる

鐵道局を免職した者

龍山漢江通十六番地居佐藤源吉（三五）は鐵道局總務課勤務中一月九日同課に係る日記帳靴下代金等の內合計百十二圓を橫領して遊興費に消費し事中昨年十月より局員の共同出金備付の銀製花瓶一個及び卷煙草入一個を竊取し倘鐵道俱樂部の事務に從事中同年七月より十二月迄に取立てたる三十三名分の鐵道時報代金合計五十二圓餘を横領し其他ゲーム代會費合計五十七圓餘をも消費して之を拐帶

## 仁川沖で坐礁

### 乘組員は無事

黃海道甕津郡石城島劉某所有の帆船源順號（五萬斤積價格七百圓）は二十五日午前十時頃大舞衣島の沖にて坐礁し船體は浮揚する見込なき大損害を蒙りたり此損害は船體及積荷共千七百圓餘なるべく仁川警察署よりは急報に接し警備船を派し乘組員十三名を救助せり（仁川）

## 古佛像燒失す

忠南公州郡寺谷面雲岩里なる麻谷寺（住職金擎雲）より三月二十日午前十一時頃發火し一棟を全燒して同日午後六時鎭火せり損害は古佛像等を合せ一千二百圓なりと

僞造し書記の名義を惡用して府內元町二丁目の小川某より金二十圓を騙取し一月九日京城內地に逃走したる後右の惡事發覺し龍山分隊に檢擧せられ京城地方法院檢事局にて取調中なるが二十九日送致しある筈

## 本町の宵火事

二十八日午後八時頃京城本町一丁目某方より出火し消防組出動一部を燒きたるのみにて間もなく鎭火せり損害約二十圓

## 神武天皇祭遙拜式

京城神社にては來る四月三日宮中に於て神武天皇二千五百年祭を行はせらるゝに付同社に於て遙拜式を行ふ由

## 五十男の投身

高陽郡龍江面玄石里漢江岸に二十三日午後三時頃屍體漂著し居るを發見し所轄高陽署に急報したるを以て同署より係員出張檢視せしが死者は高陽郡某（五六）といふ者にて同人は長男某が精神病に罹りたるを苦慮し覺悟の投身自殺をなしたるものと判明し屍體は遺族に引渡す

## 觀世流素謠會

觀世流各會の例會は四月二日（神武天皇祭）正午十二時より開催する由なれば來會者多かるべし

## 軍艦生活（四）

### 火災の起つた時　樂しい晝やすみ

森嚴を極めたる軍艦旗の揭げ方が濟むと直ちに中下甲板の掃除と金物の手入れが始まる艦內には金物が澤山に用ひてあるから金物磨きは却々大仕事であるそれが濟むと

▽小銃及大砲其他　▼一切の武器の手入をするこれが九時頃に濟むそれから十五分許り休憩時間が有つて每日の事業と云ふのが始まる艦で事業と云ふのは艦材の錆落し各種の修繕又は職工部木工部等にて艦內の必要に應じて道具を作る事などであるそれが終ると今度は操練が始まる此の操練は

▽戰鬪及び陸戰隊　▼防水、防火等に分れて居る戰鬪演習は實戰の際に於る乘組員の配備進退攻擊防禦等の操練で砲彈の込め方等も勿論此の操練の內に加へられて居る猶此外に戰鬪演習として陸戰隊演習が行はれる此陸戰隊は全く步兵と同一の練兵を行ふのである

▽防水演習は戰鬪　▼中は戰時に於て艦の損傷の爲めに侵入する海水を防ぐのである

これには各室の扉を密閉するのと一方ポンプを以て浸入せる海水を排出する等に分れて居る又防火演習は戰時にも平時にも有るが陸上の場合に於ける消防とは大分趣を異にして居る艦內では各室に大抵

▽消火機關の設備

が有るから直ちに注水すると同時に其の消火栓を拔いて他室への延燒を防ぐのである一方扉を密閉して軍艦を見た人には斯んな鐵造の船中ならば火を放けやうとしても却々燃え付くまいと思ふけれども其の實軍艦の中には燃燒性の物が甚だ多い第一軍艦の內部は悉くペンキで塗つて居る石炭も積んで有るその上

▽怖るべき火藥を　▼澤山に積んで有るから火災は軍艦の最も恐るべきものとしてある戰時などに砲彈でも爆發すればその發熱に由つて直ちに火を發する故に此等戰鬪中に於ける防火の設備は元より

▽僚艦又は其他の　▼艦艇に於ける火災の際に之れを救助應援する演習をも行ふ之れを防火隊派遣と云ふて居る此等の演習は十一時二十分までに凡て終了して十一時三十分から晝食が始まつて十一時四十五分に終る事に成つて居るそれから午後一時十五分までは樂しい晝休みである

◎漁船の顚覆　去る廿四日午後三時頃全南突下島と温錦洞の間に……なきを得たるが右は木浦旭町石山利吉外鮮人二名にて數日前より珍島へ出漁中のものなりと

……の妻たつゑ子は去る二十二日午後十一時頃外より送り來りたる金子三百圓を店頭に……の旨早速其の筋に屆出でたるが賊は外より入りたる形跡なく家內の者の……目下其の筋で……

……が去る十六日午後一時三十分頃自宅裏手の井戶端にて用事中持病の癲癇を起し、井戶の中に眞ッ逆樣に……

釜山入港弘濟丸（一二等客……）

▲廿八日午後釜山入港對馬丸（一二等客……）

天氣　曇り但少雨


## 牛乳購買公告

順化院患者用牛乳……此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上……入札者ハ滿二ケ年以上斯業ニ從事シ現ニ京城府內ニ於テ營業稅地方稅ヲ納ムル者ニ限ル……供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ契約書案熟覽ノ上三月三十日午後二時限リ同府庶務係ヘ入札スヘシ即時開札ス契約ハ朝鮮總督府々尹金谷充擔當

大正五年三月二十七日　京城府

## 馬車傭入公告

馬車（汚物運搬用）二千九百二……自大正五年四月一日至同六年三月三十一日……此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上……入札者ハ滿二ケ年以上斯業ニ從事シ此ノ資格ヲ有スル者ニ限ル……供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ契約書案熟覽ノ上本月三十日午前十一時迄ニ入札スヘシ即時開札ス契約ハ朝鮮總督府々尹金谷充擔當

大正五年三月二十七日　京城府

## 人夫傭入公告

人夫（汚物掃除用）拾七萬八千九百人　自大正五年四月一日至同六年三月三十一日……此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上……入札者ハ滿二ケ年以上引續キ斯業ニ從事シ經驗アル者ニ限ル……契約ハ朝鮮總督府々尹金谷充擔當

大正五年三月二十七日　京城府

## 順化院食糧品購買公告

一　醬油壹石武斗外諸食糧品　自大正五年四月一日至同年七月三十一日　使用豫定數量……此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上……入札者ハ滿二箇年以上斯業ニ從事シ現ニ京城府內ニ於テ營業稅地方稅年額武拾圓以上ヲ納ムル者ニ限ル……契約ハ朝鮮總督府々尹金谷充擔當

大正五年三月二十七日　京城府

## 順化院購買公告

一　氷塊　使用氷塊壹萬五千貫　自大正五年四月一日至同年十一月末日　使用豫定數量……此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上……入札者ハ滿二ケ年以上引續キ斯業ニ從事スル者ニ限ル……契約ハ朝鮮總督府々尹金谷充擔當

大正五年三月廿八日　京城府

## 物品購買公告

一　精白米　武拾石　自大正五年四月一日至同年七月三十一日　使用豫定數量……此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上……契約ハ朝鮮總督府々尹金谷充擔當

大正五年三月二十七日　京城府

## 看護婦生募集

願書提出期日　大正五年四月二十日
試驗月日　大正五年四月廿八九日
詳細ハ當院ニ照會アレ
朝鮮總督府指定看護婦養成所
龍山鐵道病院

## 松材販賣廣告

一　李王職花山森林
拂下松材
土木橋梁建築用丸太及各種挽材
今般左記出張所相設安價販賣可致候間多少に不拘御用命仰付被下度候
京城岡崎町（電話二八〇番）
特約販賣店　三幸洋行出張所　松井吉太郎
特約販賣店　龍山漢江通（電話二〇一番）那須材木店
特約販賣店　天安驛前　松井吉太郎

傭人　蒔田儀
右の者解雇致し何等の關係無之此段廣告す
大正五年三月二十七日
宜壽堂　井上藥品部

## 贊化病院

京城本町二丁目　電話二四二番
入院隨意
每日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

製材機械原動機其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目　電話一〇四番
中根商會


妻峯子儀病氣の處療養不相叶廿七日午前十二時永眠致候間此段辱知諸君に謹告候也
大正五年三月廿八日
親戚　野村清次郎　川細熊太郎　野村清次郎
友人總代　湯地貞治　小園友一　永野廣治

# 贋造紙幣十五萬圓

▽内地で製造した韓銀紙幣
▽釜山地方法院にて公判開廷

昨年八月以來釜山地方法院にて豫審續行中なりし韓國銀行紙幣贋造行使被告山口縣大島郡小松志佐村松原政助(三)同上田村久作(四〇)同縣同郡屋代村秋元謙助(三)同木村阪次郎(五)岡山市上石井淺沼鶴太郎(五)釜山府草梁面申敬億同人弟申大文の七名の公判は二十八日釜山地方法院に於て開廷せられたり

▽被告等の自白 する處によれば二名の鮮人を除く五名の被告等は大正三年十一月中秋元謙助の出資にて贋造機具を調へ昨年五月十八日より山口縣大島郡上屋代村共同被告木村方が一軒家にて人の目に著かざるより同人方にて贋造紙幣の印刷を始め全部にて

▽十五萬圓を仕上 げ松原は之れを朝鮮に持行き銀行其他にて本紙幣に引替へて互ひに平等に分配せんとし各被告人は二三萬圓宛所持して之れを保管し松原は其中一萬五千圓を携へて八月三日頃渡鮮し釜山龍頭山にて申敬億に會し該一萬五千圓の贋造紙幣を一萬圓にて賣買契約をなして之れを申に渡し代金は四日午後四時申の宅にて受取る筈なりしに四日申敬億弟申大文が

▽釜山郵便局にて 該贋造紙幣を行使せんとして發覺し申の家宅搜索となりしかば松原は風を喰つて下關に引き返し越えて十二日再び秋元を伴ひて來鮮し咸安郡北面德[illegible]里李丁樹より砂金を買ひて其の代金百三十圓を該贋造紙幣にて支拂ひたる後同地の某内地人旅宿にて十圓券の兩替をなさんとして發見され同地警察の手にて取押へられ所持せる一萬圓餘の贋造紙幣を沒收されたるより茲に端なくも其の僞造者判明し他の共犯者も續いて逮捕さるゝに至りたり事實の審問終り森浦檢事は立ちて秋元、淺沼の兩人は

▽無期懲役に處し 松原、田村、木村三名は各懲役十年に申敬億、申大文は各懲役五年に處するを至當とすと最も峻嚴なる論告をなし各被告辯護人は之れに對し輕きに從ひ或は刑の執行猶豫を請求し尚ほ辯護未了の者あるより裁判長は來る三十一日判決を言渡す旨を告げ閉廷せり(釜山)

# 春と犯罪

空巣狙ひと小盗人が多い

沈澱した結氷の冬から甦つて暖い春の日射が輕い春風に溶け込むやうな頃日となれば、大自然の氣分に支配されて人の心も自ら起きが躍つて來る。眠りから醒めて活動に入るの時機であるから、各種の事業も活氣を帶び中止されてゐた道路工事も復活し、家屋の建築や橋梁の架設も亦々開始されるといふ

▽勞働者の福音 は昨今各所に復活し初めた、其の他各種の生業も是から漸次膨脹の時機に入り旅行者も增える、恁うした氣分に伴ひ寒い間温突に燻つてゐた家庭の姉女子なども散歩や遊山の爲め外出勝ちになり所謂開放的になるから是から油斷の出來ないのは搔つ浚ひと

▽空巣覘ひである 犯罪の方から見て詐欺取財のやうな念の入つたものは減少される代りに單純な小泥棒などは却つて增える傾向があるから是れ等は相當注意を要する

問題であるし其れと共に幾分人心が粗雜に流れ易く毆打、及傷害等の傷害罪が發生する、或は氣候の關係上

▽痴情に關する 犯罪も續出され娼妓の墮落ち、拐帶犯人、無斷家出、精神病者などのやうなものも副産物である、斯うした警察の取扱ひ事項は多から春に變つて著しく增加する、而警察犯處罰令違反に關する微罪も幾分增える、是等は一般注意と警戒とを要する所である

## ◉焔に捲れて燒死

京畿道安城郡瑞雲面山坪里鄭敬西方より二十三日午後六時半頃出火し一戸一棟を燒失して同七時二十分鎭火せり原因は敬西妻の金龍女が夕餉の仕度中強風に煽られて火は傍らの枯草に燃え移りたる爲め大事に及びたるものにて其際金龍女は火焔に捲かれて通路を失ひ遂に燒死したり

## ◉少女燒死す

忠淸北道報恩郡馬老面梧川里安明諧(五二)方より二十一日午後六時頃發火し住宅一棟を燒失して同六時半鎭火せり同日安明諧の妻鄭延日(三八)が夕餉の爲め水汲に立出でたる隙に同人二女壽出(四)が焚口の火を弄びたるものより出火し壽出は遂に燒死するに至れり損害十五圓餘なりと

## ◉中等夜學校卒業式

南大門内京城中等夜學校にては二十八日午後八時より卒業及び修業證書授與式を舉行せり卒業生七名中谷川彥雄三澤子郎の兩氏優等生として表彰せられ一二年生中各一名宛の優等生には井上校長よりローマ字引國漢文字典一冊宛賞與せられたり且つ京畿道學務主任も列席し卒業生に對し有益なる一場の演說を爲したり

## 演藝

▲三輪實 開演中なる新派自然劇團三輪實一行は昨日座を打上げ二十九日夜より龍山佐久良座にて開演すべく初日の藝題は一行得意の大每所戰狩世劇なり

▲浪花館 來る四月一日二葉會主催の下に杵屋六武の長唄會を開催京城兩券番の出演あり主なる番組左の如し

△末廣がり(唄照子、三絃はま、みん)△晉髮八景(唄七郎、香蝶、三絃若福、杵屋六雄、上調子芳村伊須恵)△越後(唄辰龍、小勇、三絃若福、杵屋六雄、上調子桃太郎、小鼓千惠子、大鼓で郎)△小督(唄小六、吉彌、三絃みん、はま)△勸進帳(唄ト九、政勇、百吉、三絃政富、小玉、小鼓千代香、玉子、笑子、大鼓ル子)△菖蒲浴衣(唄若福、三絃みん、浴江)△鞍馬山(唄松子、三絃若春、杵屋六雄、小鼓千惠子、大鼓若菊)△たぬき(唄若吉、ト一、三絃若香、浴治)△秋の色種(唄芳村榮十郎、三絃桃太郎、香蝶上調子靜蝶)△胡來定(清華亭連中)△元祿花見をどり(唄若吉、辰龍、みつ子、三絃小勇、梅若、八千代松子△餘興 新内道中膝栗毛(鮎賀若太夫)

台所 その日(く)

△煎玉子 玉子を四つ位割つて、此れへ味淋と醬油と素湯した少量加へ鍋に入れて火にかけ、杓子にて玉子の凝結までまぜ、かたまりかけし頃菜箸四本位を手に持ちてあまり固く焦らぬやうに程良く煎り上り來み海苔をかけて備めます。

# 商況

## 東京株式特電

| | 二十八日前場寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 日本郵船 | 一九〇、五〇 | 一八八、九〇 |
| [illegible] | …… | …… |
| [illegible] | 一五八、九〇 | 一五八、九〇 |
| [illegible] | 一二九、三〇 | 一二九、一〇 |
| [illegible] | …… | …… |
| [illegible] | 二四九、〇〇 | 二四八、五〇 |
| [illegible] | 二四九、九〇 | 二五〇、〇〇 |
| [illegible] | 二三七、〇五 | [illegible] |
| [illegible] | 二三七、〇〇 | 二三七、〇〇 |

## 債券現物特電

二十九日出來値段(前日との比較)

| | |
|---|---|
| 東洋拓殖 | 一四五、五〇 |
| 京城電氣 | …… |
| 朝鮮銀行 | …… |
| 朝鮮瓦斯 | …… |
| 南滿鐵道 | …… |

## 東京公債直取引特電

二十九日出來値段(前日との比較)

| | |
|---|---|
| 五分特別 | 九五、四〇 |
| 五分利公債 | …… |
| 一四分 | 八二、九〇 |
| 二四分 | 八一、九〇 |
| 甲五分 | 九四、九〇 |

## 深川在米特電

二十九日現在高 [illegible]

## 東京期米特電

| | 廿九日前場 |
|---|---|
| 當限 | 一三、三〇 |
| 先限 | [illegible] |

## 大阪株式特電

## 大阪三品特電

二十八日前場寄付 / 大引 [illegible]

## 大阪期米特電

二十九日前場 [illegible]

## 雜報

◉關東製粉落附 内地製粉市場は關東三社の方針稍や一致の傾向あるに一面には實際資行株も折がら刑期待せられたる程には良好ならず何れにしても月更[illegible] [illegible]

◉鐵價居据り [illegible]

十五弗に引上 [illegible]

◉明太魚荷動不振 [illegible]

◉圓内外相場依然二十 [illegible]

◉品質優良なる物殆ど稀 [illegible]

◉乾海苔一寸強硬 [illegible]

◉天候不順 [illegible]

◉清凉飲料の昨今 [illegible]

一錢の値上 [illegible]

相場は漸落の一方ならん [illegible]

下關相場 [illegible]

◉移出糠漸次動く [illegible]

◉豆粕及過燐酸の騰貴 [illegible]

早晩相場の騰貴を促るべし [illegible]

◉片栗粉愈々強硬 [illegible]

◉米餅は品薄 至極少數 [illegible]

◉餅は地場安 [illegible]

三十六圓の入電 [illegible]

◉新期商談望み [illegible]

釜山餅 [illegible]

◉却て高値 内地相場 [illegible]

値安約定は弗々入荷 [illegible]

## 南大門の廻穀

## 生魚市場

## 仁川現物市場

## 仁川期米

▲二十九日前場

一錢安の入電 [illegible]

依然保合の裡に [illegible]

## 市場零聞

依然動かず [illegible]

## 京城正米

## 各地商況

## 仁川米豆取引所

二十九日の五月限 [illegible]

## 賣買取組高

| | |
|---|---|
| 三月限 | 一萬石 |
| 四月限 | 五百五十石 |
| 五月限 | 五萬七千七百五十石 |

## 小賣白米

▲兵阪筋の力戰 [illegible]

▲保合に終らんか [illegible]

出來一萬石の大受渡は貸行 [illegible]

▲全部手當 [illegible]

▲當限受渡豫想 [illegible]

人氣は新甫待ち [illegible]

大解合成立 [illegible]

▲嫌氣投物顯はれ [illegible]

▲調節米賣出し [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長三二二、七三九

田中金兵衛 一定期賣買の委託 電話長一六二入番

## 滿蒙處分論

京城日報代理部 定價金一圓

## 演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七

壽座 本町 電話五七八

大正館 櫻井町 電話八七三

[illegible]

女にはらむ日とはらまぬ日

[illegible]

優良種 洋蜂分讓 大邱東雲町(府廳東側) 鈴木

淋病新藥 リヨール 發賣元 東京市日本橋區本町三丁目 ツヨール商會

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢二厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 同 龍山出張所 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

眼科内科 小兒科 入院隨意 京城黄金町三丁目赤門前(電話二四四三番) 本田醫院 院長 本田建義

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 京城本町二丁目 發賣元 前田酒店

公債ト債券 金貳千圓 月賦賣 帝國五分利公債 支部及代理店經營者を募る 日本勸業銀行債券取扱店 日本恒産株式會社

酒井婦人病院 京城永樂町二丁目 入院隨意 電話二六〇〇番

植林苗種子 果樹苗木 野菜種子 草花種子 農具肥料 販賣 御申込アレバ代價表進呈ス 朝鮮平壤 内田百花園

タングステン鑛、水鉛鑛其他鑛石數量を問はず高價買入申候 京城旭町一丁目三十番地(御大師前) 中川湊 電話一六二四番

遊船あり折柄旭町沖にて直江津丸の石炭陸揚げに從事し居たる木浦組仲仕四五名が之を目撃し直に解船を飛ばして乘組漁夫三名を救助し幸ひに [illegible] には何等の損所なかりしも顚覆と同時に漁獲物全部を流失せり

◉金庫から [illegible] 全北全州郡參禮面後北里居住精米業山本長三郎氏(三二)[illegible] 三日午前八時頃件の金子を取り出さんと金庫を開きたるに在中の金子は影も形もなきより非常に打ち驚き [illegible]

◉井戸に墜ちて慘死 全北扶安郡邑内丸茂旅館主人島根縣隱岐郡生れ城德兵衛(六二)は豫て癲癇持ちなりし [illegible] 生せざりしと

◉連絡船上陸客 廿八日午前 [illegible]

# 越後大評定

第百七十三席 早川貞水口演

## 百姓の狼狽

此時光圀公、代官鈴川關左衞門の誠忠に御感心あそばし 光『イヤ〳〵心配いたすな、悉く行屆いたる其方の政治向き、感心いたした、賞め遣はす、叱りはせぬぞ』と云はれて尙更關左衞門感涙に咽ぶ、光『光圀と解つたれば、此上は變の縄を解いてくれ』關左衞門恐る〳〵縄を取つて御手を把つて御上へ参らせ、山田の元起をも縄を解くし上座へ直し、其身は白洲の砂利に手を支いて、隔泣くよりも他に言葉なし 光『コレ代官鈴川關左衞門、決して詫入るには及ばぬぞ、光圀と知つて爲したりとあれば、無禮も措けぬが、何人か解らぬも道理なり、決して恐れ入るに及ばぬ、此上とも百姓を大事に、仁政を施せ』關『ハア恐れ入り奉る、誠に有り難き次第』と、そこで代官は涙を拂ひ百姓共に向ひ『コレ百姓共、其方等は拙でも〳〵罰當りの奴だ、今此處へお伴れ申せしは、當御領主様、陸奥守綱村公の御父上、水戸中納言光圀公に亙らせられることは知らぬか、此代官が今將に一命を捨てんとせしも、儞に汝等のためであるぞ』云はれて百姓一同『ヒヤー水戸様で御坐つたか、斯りヤーもう何とも申譯がねえ』と一同聲を揚げて泣き出し『是と云ふも〆切新田の勘太郎が茶碗を投付けたのが事の起りだ、サア勘太郎の野郎簀巻きにして川の中へ放り込め』と立寛るを、光圀公制し給ひ 光『コレ〳〵、決して勘太郎とやらが悪い譯でもない、是れ皆領主を尊み、役人を重んずる所より出でたること捨て措け〳〵』一同之を聞いて有り難涙にくれ、銘々吾家へ歸ると、川狩をして鮎などを持來り、又は胡蘿蔔、水牛蒡等の野菜を山の如く持來り、賓客様へ御馳走して下さいと云ふ、光圀公に用合の人は懇ろに朴訥の仁に遇し、悉く圀公此の百姓の朴訥なるに、御滿足遊ばしましたさて、此處に、三日御逗留の上『予は忍びの道中ゆゑ、決して諸方へ沙汰してくれるな、知て儞には百姓共から藤蔓に結へられ、代官所へ引かれる等は、光圀の愉快とする所だ、心のまに〳〵旅行をするが、何よりの樂みである』と仰せられ、堅く代官の口を留め、船岡を御出立に相成りました、夫より何處と云ふ目的もなく、漂々として足の向うた方へ御往でになる、其に是かの道中の愉快、その内に石の巻街道を一里ほど御入來になると、今日は少し朝の御飯を御控へになつたので、御空腹を覺えさせられたから、供の元起に向ひ 光『元起、少々今日は朝飯を控へた故、空腹いたした、是から山路へでも掛ると、食事に差支へるであらう、道中で空腹は甚だ難儀なものだ、幸ひ彼處に『飯酒うどん』と書いてある此處で、其方持參の瓢の酒を温めて、何か有合せの肴で、一杯いたさう、又から云ふ所で食べるのも、話の種子になる』と仰せられ、最う馴れて入らつしやるから、百姓家の門口の障子を開て、御入りに相成り 光『コレノ〳〵食事を致して参らうと存ずる……何人か居らぬか……コレ〳〵食事を致したいが何物か出來ぬか』

三月三十一日九星
舊二月廿八日丁卯
本命七赤 西 建 大安

▲七赤●花實なる誘惑に逢はんとす慎で新事見合すべし▲八白●志願叶ふ日韓人入學試驗を受る▲九紫●勘定にあわぬ事有る日新事手控へ萬事は吉▲一白●正數 旅行入吉▲二黑●見込の保證を禁ず[illegible]▲三碧●入學名弘金件縁組女子の病立し[illegible]▲四綠●年運の日なれども新事を控へ[illegible]▲五黃●[illegible]▲六白●[illegible]


▲全國專門女學校○各小學御採用 實用新案登錄第三八三〇五號

**小町印まち針**

裁縫に小町まち針は是非無ければならぬ物で、各專門女學校始め小學校又東京の家庭にありても好評で皆様の御使用であり升、殊に製作上多大の注意をはらひ、獨特の技巧により頭部にアルミニユームを固著せしめ、裏面は學年又は氏名を記入することを得、實に裁縫界の一大福音であります

價…五本入三錢○十本入五錢送料各三錢○百本入四十五錢送料八錢
○見本御入用の御方は郵券八錢送れ
發賣元 東京市神田區南神保町 根本商店 振替東京二三三九一
共立女子職業學校 日本女子大學校 學習院女學部 御用

**寫眞**
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高評に應ず
京城日報社 寫眞製版部

撞球界の泰斗 王乃一熊著
**撞球指南**
菊版上製三百餘頁 總クロース美裝函入
定價壹圓五拾錢 □郵稅金二十錢□
玉突の理論と實際を解説せる
初學者の入門熟達者の虎の巻
「東京朝日」評 我が撞球界に於ける科學的知識と技術の卓抜並ぶものなき點に於て斯界の權威こして推さる、著者の最も統一ぜる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導こして推薦すべき者なり
發賣所 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社 **第一銀行京城支店** 京城本町二丁目(電話番號京城一一番)
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

學園は多年の經驗を以て育成したる各種苗木數百萬本あり其の種類の正確發育の優良なる事他に比類なかるべし
菓樹、山林、庭園、各種苗木販賣 **平安攻玉園**
外に特製剪定鋏、牛田式噴霧器、袋製造器、肥料、害虫驅除藥品等、西鮮に於ける一手販賣をなせり、御希望の方に攻玉園を進呈す
朝鮮平壤停車場前通 電話二六四番 振替口座京城一四五五

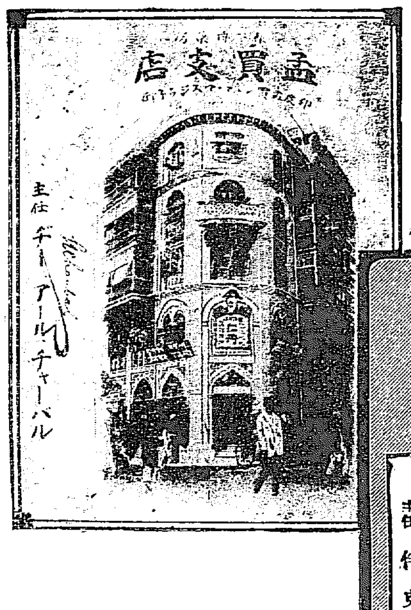
金言
明治天皇御製
國民の力のかぎりつくすこそ身のためよのためなりけれ

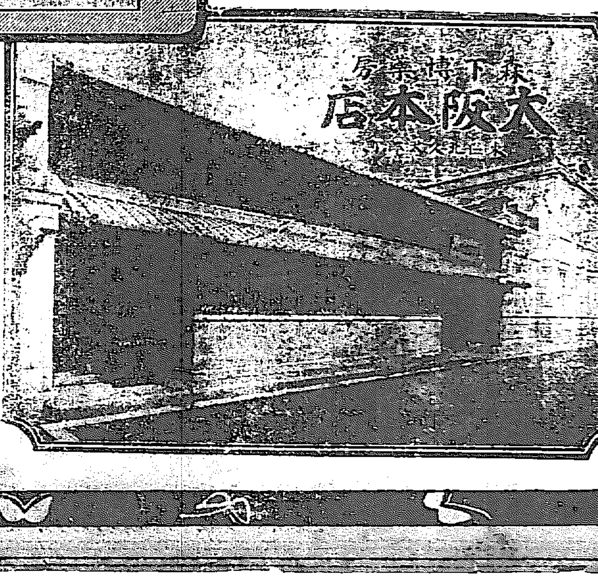
# 海外支店設置御披露

今や仁丹の大發展に伴ひ海外に下掲の通り四ヶ所の支店を設け卸賣部、擴張部及倉庫等を完備し益々原藥を精選すると共に最も堅實に奮勵可仕候間何卒倍舊の御愛顧偏に奉悃願候

大正五年第三月

仁丹本舖主 森下博





京城日報 第三版

大阪期米特電(廿九日)

▲後場寄付十三圓十七錢▲中限寄付十三圓四十七錢▲先限寄付十三圓八十三錢

三十日朝刊(夕刊と合せて八頁)

發行所 京城日報社

# 物價騰貴策

京城日報

歐洲戰亂の影響を受けて、我邦の物價騰貴し、商品中には數倍、數十倍に暴騰したるものあり、隨て消費者側の蒙むる不利益は、甚だ尠少ならざる也。

もとより物價今日の騰貴は其原因種々なるべく之あらむ。戰時中交戰國に於て、軍需品以外の生産が、激減したること、船腹不足或は保險率騰貴等、海運に備なき事情に基くものあるべしと雖も、而も格別騰貴すべき理由なしと見らるべきものにして、意外に騰貴し居れるもの、亦少からず。其の一例を擧ぐれば、洋紙の如きは營業者中には、瑞典が英國に對し、パルプの輸出を禁止したるを理由とし、我國にも之が輸入の杜絶せらるゝ樣吹聽して、盛んに騰貴策を講ぜし奸商もありしが、而かも瑞典の輸出を禁じたるは英國に對してのみにて、我國には何等の關係なく、且つは我國の製紙業は近年其の進歩著しきものあり、今や一躍輸出國たるの地位に居れば、製紙の如き他の物價に比し、よしや多少の値上は止むを得ざるとするも、三割乃至四割と云ふが如き値上は、實に法外千萬と云はざるべからざるなり、又た染料の如きも、一時は全く輸入の杜絶に至りしより、或は十倍二十倍と云ふ、狂熱的價格を示し居たるも、現在にては、昨年十萬圓足らずの輸入に過ぎざりしものが、今年は既に百七十萬圓のアリザリン染料の輸入を見、又た三池製品の如きも、既に市場に現はれ、其他各地に勃興せし染料會社の製品が、續々上市さるゝに至り、硫化染料の如きは、寧ろ生産過多を告ぐるの有樣にあり、されば其の價格も亦、生産の增加に伴ひ低落すべき筈なるに、尚ほ其不廉を告ぐるは、即ち之れ人爲的の釣上策の行はるゝに外ならずして何ぞ。此の如き例他にも尠からず。果して斯の如く物價が人爲的の騰貴を來し居るものありとせば、吾人は奸商の爲めに犧牲となるに忍びず。一日も早く之等奸商の乘ずべき機會を奪はざるべからざる也。交戰國に於ては、法律の威力に依つてまでも、物價の不當なる騰貴を防遏しつゝあり。現に英國にては、之に關し幾多の法律制定され、食料品其他の、不當の値上げを抑制し、動物の屠殺迄も、制限せられ居れり。其の制遏方法の如きも、調査委員會を設け、日用品中、高價なるものを選出し、營業者に對し、販賣品の數量を報告せしめ、各方面の狀況を酌量し、價格の協定を試み、萬一之れに應ぜざる時は、委員會にて決定したる評價を以て、政府は之れを買上る等の手段を取りつゝあり。物價が愈々奸商の手に依りて、人爲的に騰貴を來さんとせば、さらでだに生活難に襲はれ居る社會は、一層に之が喚聲を高むべく、之が結果は、單に經濟上のみならず、社會政策上にも憂ふべきものあらむ。

# 隣邦時局の觀察(三)

布施知足

更に簡略に説明すると兵部尚書即ち陸軍省長官で中央政府に列なり都察院都御史で彈劾權を授けられてゐる。總督直隸等所地方兼管河道總督これは直隸省の政務を視ると共に黄河の水政を掌る職務である、管巡撫は巡撫を兼務する事で提督軍務糧餉は軍の經理に任ずる職務である北洋大臣は即ち通商大臣で芝罘以北の開港場で起つた外交事務を處理する役目であつて之に對して南京總督が南洋大臣として芝罘以南の開港場に於ける事務を處理する事になつてゐた、さて斯樣列べ擧げた中で直隸總督兼管河道總督巡撫事北洋大臣は直隸總督に限つた役であるが其外の職はどの省の總督も行てゐて當時に其職相當の權限を働かす事が出來る、他省の總督や巡撫は勿論中央の顯官と雖も若し其所爲が天下の爲にならぬと思ふと御史の資格でどし〳〵之を彈劾する事も出來たのである。問題の人袁世凱氏なども直隸總督在任の當時軍機大臣として威勢赫々たりし慶親王を酷く彈劾した事もあつた、各省の總督互ひに同樣の權勢を有つてゐて相牽制しあふのみならず一省内の總督と巡撫も又互ひに彈劾する權がある、つた巡撫は元來總督の下僚では無く總督と並立して天子に直隸した官であつて矢張り總督同樣種々な官職を加へられ例へば御史の職で巡撫は皆都察院の副都御史である、即ち其資格で他省又は自省の總督なり其他の諸官なりを彈劾する事が出來る譯である、一體前清時代の官制で一番特異な點は萬事を合議制度とし諸官をして互ひに牽制せしむるやうに組立てゝある事で官吏は一人で儲けば惡い事をするものだと云ふのが支那官制の精神かとも思はれる位である、左樣云ふやうに役人が互ひに相牽制するやうになつてゐる上に事務の捌き方が何事も先例先例で先例故格が唯一の典據となつてゐるから到底一人が擔んで、自分の力で何をする透も無いそれで總督や巡撫の權力があの位大きくても割合に國家の害になるやうな大勢力を揮ふ事が出來なかつた、それにも係はらず中央政府の意向は出來るだけ此地方大官の權力を削つて施政の權利は全部中央に收める方針を取つたのであつた。支那近事の形勢を其原因尾大振はざるの弊にありと認めて無暗に中央集權の策を取つたのは、さうから觀ると先づ誤の第一歩だと思はれる。しかし之は議論として其方針で滞なく進んで來てゐるか、實際に於ては兎に角政府も人民も此方針で何處迄も進まうとすれば共和政よりも帝政が善いと云ふ理窟も成立たない事も無い、否更に推し詰めて往けば共和帝政の孰れも擔き清朝を覆したのが餘計の事であつたやうにも思はれる。

# 北鮮より

△再開の天寶山 曾て採鑛準備中なりし天寶山は銀銅の鑛山にして光緒十五年に始まり清家の變遷を重ねて來れるが、久しき案も漸く解決し今回日支合辦を以て再び採鑛するに至れるは實に[illegible]事なり同鑛山は往時採鑛[illegible]なりし光緒十八[illegible]頃に於て[illegible]一日銀十貫餘を出し[illegible]在りて銅は之れを棄て[illegible]は積んで二百立方坪の多きに達したり。先年統監府派出所に於て調べたる此の滓の分析表を見るに百分中最良のものに在りては銅六五、一五銀〇三、五にして劣等のものは銅三、六〇銀〇、〇一三の比例にて尚ほ他金屬を含有せりと雖も其量極めて僅[illegible]

△北鮮漁業界の嘴音 近來清津新浦の商人に依り開拓せられんとしつゝある明太魚と鱈の新販路に就き聞く所によれば明太の副産物たる[illegible]は從來[illegible]人の知る如く腸鹽辛として殆んど內地向[illegible]の需要[illegible]ミ一輸出の端緒を開くに[illegible]去る十九日[illegible]より神戶を經由し新浦[illegible]鮮商人[illegible]內地商人[illegible]荷せるに[illegible]又は神戶に[illegible]開鮮の[illegible]輸出せられ[illegible]より上[illegible]て開鮮の[illegible]要地に[illegible]面なり[illegible]殊も消[illegible]に上りつゝある今日[illegible]取引開始は當然行はざるべからざる所にして之が[illegible]一回[illegible]今回清津仲買人より數百斤[illegible]及[illegible]第一回[illegible]魚[illegible]下鮮支人の[illegible]

[illegible]少なりとす。之れを以て見るも[illegible]が銀銅に富めるは明かにして[illegible]再開に五十萬圓の巨資を投じ[illegible]の修理家屋の建築及び其他の費用に充て當し勞働者は契約に依り支那人を先に採用する事とし若し支那人にして適當のものなきか或は不足を告ぐる場合には鮮人勞働者を以て補充使役する事となり居れり

# 北鮮の山水

東拓理事 村田俊彦 (23)

## 八、咸南の浦輪

### 美人投身節婦巖

洪原より東の方少許にして節婦巖あり。節婦巖の山緒に二說あり。其一によれば、北靑に牛蛾と稱する窈窕たる美人あり、若うして夫を失ひ寡居す。洪原の縣奴之を奪はんとせしに、牛は詐り從ひ途に鶴山の巖上に至り、身を海に投じて死す。此より鶴山を思郞山と名け、巖を碎娘巖と稱すと云ふ。又他の說によれば、文祿の役加藤淸正の此地を掠して南に歸るや、其の愛するところの鮮女淸正を慕うて此地に來り、遙かに帆影を沒せる渺たる海波を望み、戀々の情禁ずる能はず、遂に崖上より海に身を投じて死す。後人此の崖を稱して節婦巖と謂ふと。南鮮巖の落花巖と對して蒙求の好題目たるを得べし。

### 北の靑州

新浦は前に馬養島を控へ、規模小なりと雖も、良港たり。灣に沿うて突出する所を陸竜岬と云ふ。岬丘富士山に似たり、淸正の望みて以て富士と爲せしは此丘なりとも傳ふ。然れども亦別に豆滿江邊に淸正の富士と稱するものあり。其孰れとするも、異に我富嶽を望みたりてふことに付きては疑無き能はず。或は水天髣髴の間雲影捲舒倒扇を爲せしものか。新浦より東して新昌あり。新昌及び新浦は北靑に至る港口なり北靑は今內外人合せて人口約八千人弱を有す。もと靑州と稱せられたりしが大宗十七年忠淸南道の淸州と音を同じうするより、北靑と改めたりと云ふ。現今朝鮮の地名にして我國音に從へば其音を同じうするもの多し、公州、光州、廣州、洪州、黃州の如きは其の著しきものなり。朝鮮音に從ふ時は自ら區別あらんも、既に我國音を以て呼ぶに至りたる今日にありては、靑州が北靑と改められたる例に倣ひ、相當改名せられなば便なりと信ず。新少しく異なりと雖、道の名稱の如きも、少しく其名を簡にせば便大なるものあらんか。咸鏡南道の如きは咸南道又は咸興道、咸鏡北道の如きは咸北道又は鏡城道、慶尙南道の如きは慶南道又は晋州道、慶尙北道の如きは慶北道又は大邱道となすが如きも亦其一法ならんか。是等の事枝葉中最枝葉なる事なりと雖も、日常の文書を認むる上につき、實際上には便不便關すること少なからざるものあるべし。我國に於て竹て文書の取扱の便を思ひ、士族平民の稱を廢せんとさへも議會に提案されたることすら是ありき

# 京日詩壇

小永井槐陰

○題韓聞畫松

歲寒三友有誰嫌。寒幹稜枝殊峻巖。[illegible]如何千歲後。獨來常上[illegible]。

評曰 新有韻致、見近[illegible]

○同 高田小芥

中巖長松下。[illegible]

評曰 ○同上 西田白陰

歲寒霜雪自從容。鐵樣堅心黛色濃。不似人生徒壯健。使有此生動之致。

評曰 ○同上 永井烏石

[illegible]

評曰 ○同上 古城梅溪

[illegible]

# 日報歌壇

京城 富士夢

街上に出でてまた我か心傷けぬ宿を思へば寂しきかぎり

くもり日なればうなだれ歩むチラノ人とロシア領事の旗ゆらぐ

枯草にねて眼を閉ぢ越し方を思へばひきて硝子越し見[illegible]


新學期開始 學務顧問 坪內逍遙先生 森田鷗外先生 幸田露伴先生 夏目漱石先生 大町桂月先生 島村抱月先生 五十嵐力先生 大日本文學會 文章講習錄

第四回新學期 四月十日開講 講師陣 本會之特色 成功 修養 上 學科 講義 添削

入會好機 絕好 五大特典 入會金不要 參考書籍進呈 沙翁畫像進呈 貸費制度開設 懸賞文附與 會則見本付き

從來ある老朽小規模の文章學會類と混同する勿れ

文章雜誌進呈 壹箇年卒業

東京府下高田村目白 大日本文學會 電話番町三五八六番 振替東京二八七九

安價生活號 婦人之友 四月號

二天才女 / 經濟的生活 / 日本は贅澤國 / 安價生活 / 錢で食品分量比較 / 七十二種 / 井一つの費用で出來る客膳 / 衣服を經濟に工夫 / 五百貯金をした村落巡査 / 長篇小說 朝の歌……佐藤紅綠

婦人之友社

果樹苗木 苹果苗 紅魁、祝、紅玉、倭錦、國光 以上五品種各貳年生壹千本以上 特價壹千本に付貳拾圓 特色 品種正確 病虫 健全 慶南三浪津 林田三浪園

第十六 大戰の眞況を傳ふる唯一の活きた畫報 歐洲大戰爭畫報 三月十五日發行 增刊に限り 定價金廿五錢 寫眞四十餘頁 記事有益多趣 東京本町 博文館

蘇峰 德富猪一郞著 定價金貳圓 郵税十二錢 大正政局史論 總クロース 菊版四百冊頁 大正政局變轉推移の遠因近因政黨分合消長の千波萬波其間に活動したる幾多政治家の一進一退微に入り細を穿ちて殺活縱橫一世の耳目を驚倒す洵に是れ政局史論中の白眉也巨擘也

大阪賣所 京城日報社代理部

開業廣告 事件の大小に拘はらず頗る叮寧懇切に取扱申候 朝鮮語を解し申候 辯護士 三浦末吉 京城永樂町二丁目八十一番地 電話一三〇九番

移轉披露

村上唯吉著 心機一轉 定價十錢 郵税二錢 右內鮮文とも出版出來せり 陸續御購讀願上候 京城日報代理部 申込所 京城古市町 孤松書院

朝鮮みやげ類 官許 ツムラ人蔘精 四月十五日迄一割引

特効 老衰、神經衰弱、神經痛、腦病、脊髓病、疾、胃腸病、病後ノ衰弱、不給、其他總テノ虛弱、强壯劑 定價 五十錢 入 一圓 入 ... 元祖 ツムラ人蔘部 京城本町一丁目(明治町角) 電話一八七〇番

## 前議員の總統彈劾
### 袁變反覆の態度=權力剝奪の主張

立法代行院前議員三十七名は北京の外交團に長文の電報を送りて曰く、袁世凱氏は自ら皇帝たる旨を宣言し而も其の職務に對して爲したる誓約を破棄せるは自ら大逆罪を構成せるものなり氏が一度は皇帝たらんとし更らに總統と爲る等の袁變反覆の態度は實に兒戲に等しく吾人は如何にしても袁氏が前職に就かんとする無智愚昧の行動を諒とし得んや吾人は全國民の感情を代表して絕叫する者にして斯かる政治的騷動を根絕せんが爲めに袁氏より其の權力を剝奪せざるべからざる事を主張する者なり吾人は吾人の目的を貫徹する迄猛進せざるべからずと(上海電報)

## 英紙の袁總統評
### 一般人心の袁總統に離反せし原因

支那在留外國人中英國人の袁政府に對する批評の急變せるは注目に値すべく天津タイムスの如きは最近の社說に於て支那の危機といふ題目の下に袁政府の失政を論じ一般の人心が袁總統に離反するに至りし原因は彼が共和論者に寸毫も同情を拂はざりしこと舊式の官吏を採用したることに基くものなりと論斷し尙ほ彼は人物の選擇を誤り最早今日となりては南方に意外の蹉跌なき以上袁總統の退職は近く實現せらるべしと論せり(北京特電)

## 唐紹儀の退職勸告

唐紹儀は袁總統に電報を送り永年の友誼に愬へ此の上の騷亂を惹き起さゞらしめんが爲め大總統の職を去らん事を勸告し且つ袁氏が憲法に對して爲せる誓約に背き國民の信任を失ひたる旨を附言せり(上海電報)

## 奉天軍界の建議、

奉天軍界は袁總統に主戰的建議をなしたるが張作霖の態度は曖昧なり(奉天特電)

## 段將軍の憂悶卒倒

段奉天將軍は帝政取消以來失望憂悶の餘り卒倒し二回喀血し病床中にあり(奉天特電)

## 米獨國交形勢不穩
### 汽船沈沒事件=大統領議會に諮問

合衆國政府は汽船サゼックス及びイングリッシュマンの沈沒が獨逸水雷の爲め擊沈せられたる事明白となりし曉には米獨國交斷絕せんとの問題再燃せりされど國交斷絕は直に戰爭を意味すべきに依りウィルソン氏は先づ議會に諮問すべし官邊にては形勢最も重大なりと認め居れり(華盛頓電報)

## 樞密院會議

二十九日午前十時卅分宮中東溜間に於て樞密院會議を開き　天皇陛下の親臨あり(一)樺太廳官制改正の件(二)同三等郵便局設置の件(三)同局長特別任用の件の三件を御諮詢あらせられ一木內相高橋法制局長官等の說明あり何れも異議なく可決　陛下には諸員最敬禮中に入御あらせられたり(東京特電)

## 經濟會議案件

二十八日の閣議に於て聯合國經濟會議に關する件につき協議する處ありたるが英佛露諸國より我國に對し其の參加を希望し來りたる際如何なる案件に關し協議すべきかは通告し來らざりしを以て帝國政府より其の說明を求めたるも未だ回答來らず去れば參列者は略ぼ內定せるも議題の如何によりては或は代表者を變更するに至るやも知れず然て其の議員も確定せざることゝなれるの由(東京特電)

## 取消の主唱者

帝政取消の主唱者[illegible]政界の消息に據れば今次帝政の取消[illegible]の首領を以て名を知られし安徽將軍倪嗣沖も前日上京して袁總統に謁せし時取消の止むべからざるを陳說して二回程袁氏に勸告するところあり因に徐世昌及び段祺瑞の出山は袁氏が多少の苦痛を忍びても共和軍[illegible]有望なりと觀測せらる

## 奉天統治策

奉天省と中央政府との間に[illegible]

三、日本人の內地に雜居する者漸く多きを以て地方官は其保護に注意[illegible]の出入繁きを以て文武官の監視を嚴重にする事

## 龍將軍の調停

廣東將軍龍濟光は中央政府に打電し廣西の陸榮廷と交涉の結果休戰を[illegible]に共旨電達せり(奉天)

## 復縣の派兵請求

[illegible]下なる右路巡防一營を出動せしめたり(奉天)

## 交涉分局設置

[illegible]以て鐵嶺の例に傚ひ安東縣及び遼陽(若くは營口)に交涉分局を設け外交部より專任者を任命せられたしと建[illegible]

## 陸相の辭任談

岡陸相は辭職問題に就き陸相自身語つて曰く『余は一兩年前惡性の流行性感冒に罹り其れが原因にて肺氣症に罹され爾來健康勝れず既に大隈首相の手許迄辭表を提出せり後任としては大島次官最も適任なりと信ず又原鍋、三浦兩參政官は余の手許迄辭表を提出し居るも余は兩人を勸告し居れば多分留任すべし』と(東京特電)

## 中牟田子爵危篤

樞密顧問官子爵中牟田倉之助氏は豫て僂麻質斯に罹り青山南町の自邸に於て療養中の處二十八日俄然病勢革まり危篤に陷れり(東京特電)

## 水雷發射質問

華盛頓來電に據れば合衆國政府は駐獨米國大使ゼラード氏を通じて獨逸政府に致し英國汽船サゼックスに水雷を發射せるは獨逸潛航艇なりや否やを質問せり(紐育特電)

## 政務總監歸任

既報の如く東上中の山縣政務總監は遠藤秘書官宍戶屬を隨へ二十九日午後九時南大門驛着列車にて歸任したるが停車場には各部長官局課長朝鮮貴族民間有志の重なるもの多數出迎へ總監は差廻しの馬車にて直ちに官邸に入れり因に總監は東京滯在中久しく感冒に罹り療養中なりしが此の程全く平癒したりと

## 小工業獎勵策
### 京城商議の新計企

京城商業會議所は新設後直ちに調査機關の改良を行ひ直接會員の商工業に必要なる調査を續々發表して指導に力めたるが更に今回は京城をして小工業地たらしめんとする理想より家庭の內職又は現在京城にある內鮮人五萬の無職業者に適當する家庭工業を選び會議所は其仲介者となりて原料供給又は製品の販賣等も行ふ計畫あり目下其方法に付き攻究中なりと

## 東拓本年植樹

東洋拓殖會社に於ける本年度の植林は之れを咸南元山方面へ實行する事となり殖產部に於て計畫中なりしが最近決定せる內容を聞くに地域は咸南德源郡府內面德源山八百五十町步中三百町步並に同面永登山千二百町步中の四十二町步合計三百四十二町步にして植林樹種は栗六十萬本唐松二十萬本を算し右は纛島及び元山兩苗圃育成の二年生苗木を以て充つべく其の開始は晚くも四月六七日頃なるべく既に兩苗圃共苗木の掘集を盛んに行ひつゝあるが長倉植林技手は現場監督の爲め近く元山方面へ出張すべしと因に德源山は本年の植栽を以て一應打切る由なるも永登山には引續き數年に亙り新植を試むべしと

## 國境間島(四)
擲山生

【商業】商業地としては、先づ指を局子街、龍井村に屈せざる可からず商業と稱するも、農工業を兼業せるもの多く、而かも主として支那人に依て行はれつゝあり。間島に於ける內鮮支人商人が、商業上の勢力範圍を見るに、輸入品取扱商人(淸津會寧より間島へ輸入)內地人八割、鮮人一割五分支那人五分の割合にて輸出品取扱商人(間島より會寧淸津方面へ輸出)にありては、內地人三割五、鮮人四割五分支那人二割の比を示し居れり、現在或は將來に於て取引有望なりと稱され居るものは

▲支那人向有望品　粗布、大尺布、小巾綛、綾布、晒金巾、綿花、綿絲、砂糖、石油、ボスマッチ、神戶洋紙、古新聞、煙草、紙捲、米、醬油、蜜柑、氷砂糖、ランプ、

▲朝鮮人向有望品　粗布、晒金巾、綾布、綿花、綿絲、安全マッチ、石油、神戶洋紙、上等煙草、洋燭、陶器(安物)綿毛布、大タオル、洋傘、毛絲(ツルマキ用)文房具、紙類

【貿易】間島の貿易は逐年其數を增しつゝあれども、如何せん詳細なる調査機關の完備せざると、諸般設備の周到ならざるとに因り、統計の完全なるもの無きは遺憾とする所なり而して間島に輸移入する物資は、其經由地三系統に岐れ、即ち(一)吉林系(二)淸津系(三)琿春系なりとす。以上三種の貿易系統に由り、一箇年間多きは百八十萬圓、少なきも百萬圓の貿易額を算し居れり。大正四年中淸津港經由の所謂通過貿易と稱するものに依れば、間島地方に輸移入せられたるもの、二十六萬一千二百二十八圓、琿春地方に輸移入せられたるもの、二十三萬五千二百五十九圓。間島より淸津又は其他へ輸移出せるもの二十七萬六百四十二圓、琿春地方よりのもの二十四萬二千八百二十三圓なり。此他所謂國境貿易にして北鮮の豆滿江沿岸に在る各稅關出張所に於て調査したる大正四年分の貿易額は輸出(間島及び琿春地方へ)五十五萬二百六圓、輸入(間島及び琿春地方より)二十六萬八千五百九十四圓合計九十一萬八千八百[illegible]にして、輸入は輸出の半にも達せず、依然[illegible]の姿なるは、間島及び其接壤地の交通機關不備のためなり、此兩地の貿易額を合計すれば輸移出百六萬三千六百七十一圓、輸移入七十六萬五千八百八十一圓總計百八十二萬八千七百五十二圓の巨額に達し居れり

[illegible]に赴く由なるが右は公式の赴任には非ずと

## 記念林に記念樹

京城府にては來る四月三日午前十時より龍山桃山なる御大典記念造林地約十四町步の山林に於て記念植樹を行ひ當日は府及び學校組合吏員府協議會員等並に家族等の參加あるが一般府民の參加をも歡迎すべしと

## 平壤の記念植樹

來る四月三日神武天皇祭日を卜し平壤に於ては道廳府廳大同郡廳合同主催に係る第六回記念植樹を山手町瑞氣山上に於て行ふべしと

## 鐵道古金物處分

鐵道局にては不用に歸したる古金物の競賣處分を爲したるが左記落札せり

| | |
|---|---|
| 古外輪及古輪 | 一四、九九三圓六〇 |
| 古金物類 | 九、二五四圓七〇 |
| 古車輪 | 七、二〇四圓六四 |

## 大豆粒選成績

京畿道にては道勸業方針により每年秋季に於て大豆粒選を行ひ各郡は勿論金融組合普通學校等に對して相當其獎勵方を依賴し粒選大豆の作付を督勵せしが今其成績を聞くに二萬七百七十六町步の作付反別にて收穫高は十四萬九千二十三石反當り收穫高〇、七一升の割合なりと

## 京城府二課制度

既報の如く京城府にては愈四月一日より府事務の大刷新を行ふこととなりたるが事務の分掌は大體從來と差異なきも內務を第一課財務を第二課となし其下に各係を設け事務室の連絡をも改善して民間との接觸に便ならしめ玄關には案內者たる巡視二人を配置すと云へば府民は多大の利便を蒙るに至るべし

## 會議所淸算進捗

京城日本人商業會議所は朝鮮銀行に七千八百圓の負債あり之れが返濟に就ては解散の際淸算人を設けて處分することとなり居たるが事務所の什器等は前記の如く[illegible]に依つて納入し同所の預金を得るに至る可きを以て直ちに銀行に全部を返濟することとなすべしと

## 商業功勞者表彰

京城商業會議所の成立に至る迄元日本人商業會議所に從事し多年功勞ありたる人々に就ては何等かの方法によりて之を表彰することゝなり居たるが今回之が處分を了し淸算を爲して尙ほ八百圓の剩金を生ずるを以てこれを記念品の使途に充つる計畫ありと

## 府協議員の任命

京城府協議會員中德久米藏、箕浦禮藏の兩氏辭任し缺員中の所二十九日付を以て龍山の執行猪太郎氏を府協議員に任命することに決し即日辭令の交附ありたり

## 總督府醫院患者數

總督府醫院に於て昨年中に取扱ひたる患者數は施療患者入院外來合計一萬二千九百三十四人、此治療日數十六萬一千九百四十九日普通患者入院外來合計二萬九千六百二人治療日數廿七萬六千八百七十六日にして總計四萬二千五百三十六人四十三萬八千八百二十五日なりと而して目下の狀況を聞くに春暖に向ひたると電車の交通至便となりたることに依り通院患者の數を增加しつゝあり通院患者の增加するは疾病者の增加する現象には非ずして全く氣溫と交通機關との關係なりと而して傳染病患者の著しく減じたるは喜ぶ可く今患者を內地、朝鮮外國人別に揭ぐれば如左

| 種別 | 普通外來 | 同入院 | 施療外來 | 同入院 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 內地人 | 二一、三六九 | 二、二四〇 | 四四三 | 一八五 | 二四、二三七 |
| 朝鮮人 | 五、三五五 | 三八一 | 一一、九六二 | 三四四 | 一八、〇四二 |
| 外國人 | 一三七 | 一〇 | [illegible] | [illegible] | 一四七 |
| 合計 | 二七、〇五一 | 二、五五一 | 一二、四〇五 | 五二九 | 四二、五三六 |

## 新任兩道長官

新任全羅南道長官宮木又七氏は卅一日忠淸北道長官柳赫魯氏は卅日一先づ任地[illegible]

## 鐵橋用地と住民移轉

龍山二村洞鐵橋工事は總督府の直營にて既に漢江に架設せらるゝより始興郡鷺梁津に於ける工事に着手せるが二村洞は鐵橋用地となれるを以て同部落三十二戶は各相當の移轉料の支給を受け漸次他に轉住しつゝありと

## 人事消息

▲伊集院伊太利大使　廿九日夜入京朝鮮ホテルへ
▲越田佐一郎氏(伊集院大使隨員)　同上
▲長島治平氏(同)　同上
▲武藤文吉氏(江原道第一部長)　二十九日夜歸任
▲板東勘五郎氏(代議士)　廿九日朝入京巴城館へ
▲岩元三志氏(大邱辯護士)　二十九日夜入京不知火旅館へ
▲神林啓太郎氏(成興[illegible]社長)　二十九日夜入京油尾旅館へ
▲赤星鐵馬氏(成歡牧場主)　二十九日夜入京巴城館へ
▲飯田精一氏(園藝家)　二十九日夜入京天眞樓へ
▲井原郡作氏(會社員)　二十九日夜入京朝鮮ホテルへ

## 鴨江開閉橋開始期

鴨綠江開閉橋は解氷期の爲め久しく開閉作業を中止中なりしが[illegible]四月三日より開閉を始むべく近く告示を以て發表の筈

## 宋演師轉地療養

朝鮮師團の宋演師は一月下旬以來急性肺炎に罹り所勞中の所此程全く平癒したるが氏は熱海硫黃等に於て病後靜養の爲め當分同地に轉地することゝなり二十八日同地に赴けり(東京特電)

## 南言北語

獨軍は一生懸命にヴェルダン攻擊をやつて居る▲却々根氣能くやるものだが鳥渡今迄の損害を算へて見ると十五萬人とは稱く▲亞米利加は陸軍を擴張して十四萬幾千人の常備軍を置く事になつたらしいが▲獨逸は其の米國の常備軍以上を二三箇月間中に失つて平氣である▲殊に十五萬人を失つて獨逸が進出した土地は僅に四哩▲四哩と云へば深山な樣に聞えるがタッタ五十六丁だ▲一里と廿丁で古の里程から云へば一里と六丁▲一哩即ち十四丁に鳥渡三萬七千五百人位を失つて居る割だ▲人間の丈を五尺五寸とすれば三萬人で十六萬五千尺で▲一哩は五千四十尺であるから其れを十六[illegible]たなら何うたる▲獨軍が一哩開いて失つた人間の頭と足を合せて見ると見渡三哩除になる譯だ▲之れを山積にすると人間一人が八寸厚さに見て十二萬尺あるから富士山の十倍だ▲死屍の山を築くも富士山も言語同斷▲一と口にヴェルダン戰爭と云ふが獨逸の此損害から見ても實に大した有史以來稀に見る大戰爭である事が分る▲斯る大損害は如何な獨逸でも其の創痍の癒ゆるには大分時日を要するのだらう歐洲の新聞中には獨逸の此創痍は到底癒えないだらうと云つて居るもある▲或は其うかも知れぬ▲諸種の點から察して見るとヴェルダン戰は獨逸の大努力であつて歐洲戰の關が原である▲而も獨逸が斯く多大の犧牲を拂つて得た僅に一ドーモン砲臺も遂に佛軍に奪還せられて仕舞つた▲ドーモンならんなんて洒落て居る時でもなからう▲獨逸が米大使に仄めかした媾和の意も若しかすると本音を吐いて居るかも知れない▲要するに歐洲戰も大分山が見えて來た心地がする

## 露軍大規模の戰鬪

伯林公報に曰く、露軍はヒンデンブルグ軍に對し特に激烈なる攻擊を加へ來りヤコブスタットの北方及び西方に於て夥しき兵數と彈藥を使用せし此の大仕掛なる戰鬪の規模は未だ曾て見ざる所なりと稱し例に依り露軍の損害多大なりと吹聽し更に曰く露軍は又ウキルナにても攻勢を取りつゝありと報せり(倫敦電報)

## 爆彈投下と露の奮戰

露都公報に曰く『ヤコブスタット地方の戰鬪今尙繼續せり敵飛行家の活躍は全線に涉りて益々盛となりドヴヰンスクにては十二個の爆彈を投下せり我が軍は激戰後ボスヴーの西北に於て一條の塹壕を奪取せりナロチ、ヴイスチネ湖エリヨ湖の中間にて行はるゝ我が攻擊は頑強なる敵の抵抗に遭遇しつゝあり(倫敦電報)


□講師□內藤鳴雪□佐佐醒雪□佐藤紅綠□寒川鼠骨□角田竹冷□秋元洒汀□森無黃□小峰大羽□科外講師拾數名

最新 俳諧講義錄

□俳句は我が國民文學の精粹にして、本會は本邦唯一の俳諧講習機關也
□俳諧の大家たらんとする者は入會せよ、興に俳人諸君の運命の分岐點也
□目下特典提供 東京小石川東靑柳町 大日本俳諧講習會
入會絕好機也 電話番町三六九六番

第六號申込次第 會則 要郵券 見本 呈進 料無

淑女畫報

善美を盡せる四月特別號
□大判口繪 或る朝(フセット刷)(鮮麗なるオフセット刷) 池田輝方
寫眞□學習院御在學中の各宮女王殿下御五衣を召させる閑院北白川兩宮妃殿下御散策の伏見若宮王子女王各殿下
頗る新家庭の若芽(安藤子と恭子女王殿下)
鮮明□應接間にて(松平侯令嗣と新夫人)…景九場 十二時十場
△諸名流の新婚記念(新家庭の寫眞譜數)
△スヰートホーム(小村内氏とホーム)
△二人の美人の名は…(壁貞寫眞)
□沙翁記念ジユリエット の煩悶 森律子演
□新家庭の準備號
讀物□訓話 夫婦の愛…新渡戶博士
□口繪入 カイゼルの新家庭…菊地幽芳
△果樹園の閑雅なる新家庭…松崎悅子
△單式家庭と複式家庭…野口保興
□馬場の仇討(玄洋社物語)…竃頭樵主人
悉く新家庭の(訓戒)…諸名家
(悲劇)…幸田博士
(喜劇)…三宅夫人
(豫算)…岸邊校長
精□須磨の家(家庭小說)…渡邊默禪
△村の出來事「花嫁花婿」…櫻國子
△貸家探しから道具買込まで…白雲郞
△顧慮のローマンス…
撰□若夫人の暇探…陽炎生
本號に限 四十五錢 郵稅三錢 東京本町 博文館

山縣五十雄氏 村上唯吉氏合著

富の道しるべ

誰も貧乏は厭で、安樂有福な暮しを爲たいと願つて居るのですが、暮し方の下手な爲めに、貧乏で苦んで居る人が澤山あります此本には如何すれば金を溜めて、樂な身になる事が出來るかと云ふ事を、誰にもよく分るやうに易しく面白く書いてあります、例へば、乞食のやうな貧乏な女が百萬圓の長者になつた話もあり、五十歲の水吞百姓か引續く不幸の爲め食ふや、食はずの憂目に落ちたに拘らず、後には樂な身になつた話もあります。
一冊の代價は僅に十五錢、送料は一錢、雜誌一冊の値段ですから捨てたと思つて、買つて讀んで御覽なさい、成程と御悟りになつて、大きな德をなさる事は請合です。
▲一手販賣 京城日報社代理部

學生諸君 試驗準備 組合文庫 貝原益軒 京城本町 シンギ

は奏□□遷延□羅林、張、廣建其……

市政派□□して英國公使ジョルダンも個人として□□□に……一回の調停□等を中心とせ□□□和運動は前途甚だ□□□……に努むも彼

二、奉天省の東南海岸には革黨匪徒□援助する事□る施設を止め出來得る限り軍費を□新設は財政困難なれば當分見合せとし第二十七及び第二十八師を以て警備に當らしむる事

じ……はこれを承諾し各戰線の團隊長及び龍濟光、並に廣西の陸榮廷、天祖同……受け不穩の兆あるに付至急派兵を請ふ旨電告も來り段將軍は馬龍潭の巻く道尹に交渉員を急行せしむる如き方法にては成績を擧ぐる能はざるを

# ◉御盛儀　國史に特筆すべき
## 皇后陛下伊勢御參宮

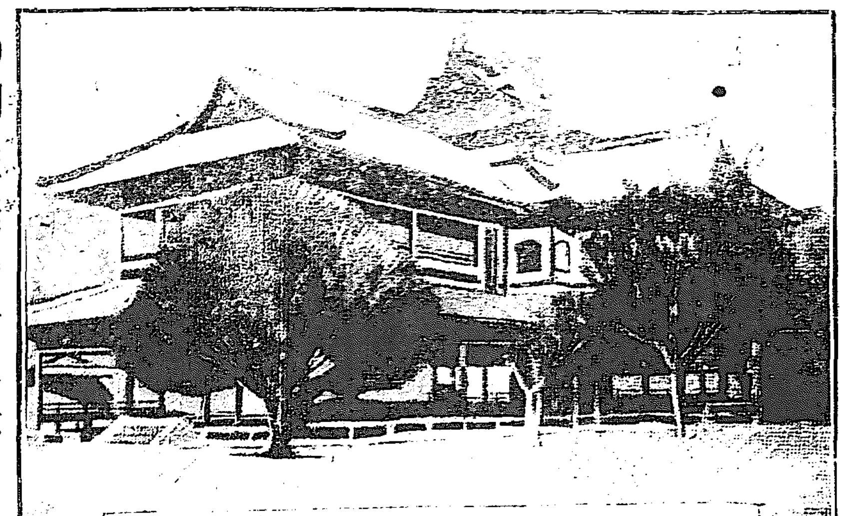
皇后陛下伊勢御參拜の次第は既報の通りたるが猶ほ承はる處によれば御伴の皇后宮にまし〳〵親しく

◇伊勢大廟に御參詣　ありしは遠く持統天皇の御參宮と昭憲皇太后が去明治四十四年皇后として御參拜遊ばされし以來今回の御親謁を加へ三度目にて我が國史に特筆すべき御盛儀なりといふを承はるに御參拜の節は御和裝を用ひさせられ殿上式によりて御拜あらせらるべく

◇陛下には山田御著　輿の翌日即ち三十一日午前九時御駐泊所たる神宮司廳御出門同十時豐受太神宮に御親拜あり一旦神宮司廳に御還啓遊され御晝餐御少憩の上午後一時四十分再び御發輿午後二時卅分皇大神宮に御親拜あらせらるゝ御順序にて

◇十二單の御和裝を　召させ給ふ皇后陛下には御正殿大床に昇らせ給ひ御拜帖に御端坐あらせ給ふべくこれより先き神宮祭主久邇宮多嘉王殿下を始め奉り三室戸大宮司、今井小宮司は瑞垣御門内に蹲踞し御落を迎へ奉り陛下の大床に上らせ給ふや大宮司は高案上に

◇安置せる玉串を執　り隨從典侍に捧ぐれば典侍之を受け皇后宮には典侍の捧げ奉る玉串を御手に天津皇祖の神前に奉奠し恭しく御拜あらせらる此時板垣御門外に整列せる儀仗兵は捧銃の敬禮をなし喇叭手の奏する『國の鎭め』の音は森嚴なる神域内に響き渡りていと神々しかるべしとぞ



御駐泊所に内定せる奈良俱樂部

# ◉清津には恁んな名物がある
## 青年義勇團＝朝鮮には唯だ一つ＝義勇團の目的＝現在の會員五十名

朝鮮に唯だ一つ青年義勇團と云ふものがある、而かも雪に名を得た咸鏡北道の清津で昨年の十月呱々の聲を擧げた咸鏡北道は

**露領又は支那領**　と國境を接して居る爲か商人でも一般人でも何んとなく氣風が異ふ新聞の電報欄に出た國際的の記事に對しては絶えず注意の眼を離さぬと云ふ樣な一種の國民的氣概を有してゐる清津は國境との交通頻繁なるのみか羅南の兵營地からは絶えず軍人が往來して少青年の尙武的精神を刺戟したことは一通でなかつた、それが遂に清津尋常高等小學校の大坪校長を促して

**義勇團の組織**　を見るに至つたそして二十何箇條かの軍律を設け現に清津小學校内に事務所を設けられてある、義勇團の目的とする所は第一に皇室を尊び名譽ある日本帝國の國體を辨へ忠孝の大義を全うすると云ふのであつて規律節制を修し服從協同の德義を重んじ、膽力を練り氣節を尙び怯懦退嬰の惡風を排斥するのである、此目的を遂するために

**會員各自が實行**　する許り雜月一回修養會を開き講師等より軍人を聘して講話を聞くこともある健全なる身體に健全なる精神宿り健全なる國民に依つて國家は榮ゆとの信仰を持こ體育の獎勵に極力努める運動會も行れば登山、遠足さては

**浪荒き北海に**　水泳を試みる「若い時の辛抱は買うてもせよ」と云ふ教訓を其のまゝ實行しようと努めて居る義勇團が昨年東京に出來てから四方八方に之れに倣つた團體が生れたが遂には本來の目的を通越して徒らに少青年の好戰的の氣風を挑發する兵隊教練の樣になつて終つた併し清津の義勇團は決して此の顰みに倣はうとするものではなく何處までも義勇團本來の趣旨を遵守して

**狂ひ易い少靑年**　期を指導して行かうとして居る團員は十三歲より二十歲迄即ち尋常小學校卒業以上の者より徵兵適齡迄の少靑年を以て組織して居る、そして其數が現在五十人程ある、

**團長は楠野府尹**　自ら當ることゝなり其下に副團長、幹事、副幹事の役員を置いてゐる清津の義勇團は大體以上の如き仕事をして居るので今では清津の名物と呼ばれてゐる清津地方には無職業者の皆無な事と盜難の無い事とは當局の措置宜しきを得たるは勿論であるが義勇團の感化に依る事も多大であると白井清津警察署長は語つた

# ◉まだ急に暖かくならぬ
## 例年より三四度寒い

三月ももう名殘り少くなつたに拘はらず何時まで經つても寒さが去らない二十八日は零下二度二十九日朝は零下五度を示して例年の此の頃の氣溫に比べると二度乃至五度の低溫を示して居る冬至以來例年稀に見の溫暖であつたのに引換へ今頃に成て餘寒が例年に無く酷しいのも一種の奇なる現象である氣象は蒙古方面の高氣壓擴大したる爲廿八日以來朝鮮各地は天氣晴朗なりしが二十九日朝來北支那方面に低氣壓發生し漸次南下して北朝鮮に襲來する徵候を示し中心は山東省の奥地に在りて七百五十四ミリを示し三十日午前迄に多少の降雨あるべく爾後再び蒙古方面の高氣壓擴大すべく氣溫はまだ當分寒かるべしと

# ◉名譽ある鮮人洋畫家
## 美術學校優等卒業

東京美術學校卒業式は二十九日擧行されたり洋畫部全科卒業生朝鮮人金鎬（二三）は全科を通じ最優等の成績を得たり同人の卒業製作「夕照」は同人の作にて全校に於ける寶讃を博し卒業式場に陳列されたり（東京特電）

# ◉淺野セメント工場出火

二十九日午後二時三十分淺野セメント工場機械工場より出火し材料倉庫、工場、木工場に延燒市內の消防隊總出にて消防に盡力しつゝあるも未だ鎭火の模樣なし（門司特電）

# ◉猛虎を射止む

元平壤憲兵隊の馬丁を勤め居たる高橋由太郎と云ふは大の狩獵好きにて馬丁を退きて後獵銃一挺を携へて成川郡方面に向ひ狩獵を本職として生計して冒險的の猛獸狩りを試み居たるが此程成川郡の或る山中に虎の棲息する事を聞き勝手知つたる鮮人數名を案內者に頼み勢子を雇ひて山奥深く狩り入りたるが終日方面を狩へて狩り立てたるも其の日に限り小猪一匹飛び出さず一同望みを失ひ引揚げんとせし折一頭の猛虎現はれたるより遂に射止め成川邑內に持ち歸り賣却したるが其價格百卅餘圓なりしと

# ◉田中良助氏逝去
## 仁川の功勞者

田中良助氏は豫てより病氣に罹り本町の自邸に於て療養中の處二十九日午後四時遂に逝去せり享年六十九哀悼の情に堪へず氏は嘗て民團議員其他の名譽職に就き仁川の爲に盡したる功勞少からず葬儀は卅一日自宅出棺東本願寺に於て佛葬を以て營む由

# ◉阿峴里墓地の法會

京城府に於て新設したる阿峴里內地人墓地は愈來る三十一日より全部の移轉を行ふを以て四月中旬を期し盛大なる法會を行ふ由

# ◉眞宗中學生入京

眞宗宗教中學校生徒六十名は大須賀氏以下五名の教師に引率せられ二十九日朝南大門驛著汽車にて入京、東本願寺別院に至り總督府を訪問せるが二十九三十の兩日京城市內見學の上三十一日朝仁川に赴く筈

# 一人前になるまで
## ―（一）―

### □銀行員

毎日〳〵ペンと算盤と帳簿とに親しむ銀行員の生活、誰れにも能きさうでさて中々の苦心の要る銀行員の生活、自分はこれを咒ひもしなければ餘りありがたいとも思はぬ唯だ天下の一事として眞面目を要し勤勉を要し努力を要し健康を要させる仕事としては無いのであるから自分は精々此の仕事を後生大事に勤めようと思ふ、等しく銀行と云つても其の種類にはいろ〳〵あるが此所では朝鮮に於ける中央銀行たる鮮銀の事をお話しゝよう、先づ鮮銀の京城本店在勤者

◇三百數十名に　▼就いて其の出身の色別けを申せばいの一番に帝大出の法學士から次ぎは高等商業學校卒業生、私立では慶應、早稻田の商科出身者同じく中等程度の商業學校卒業生、銀行手傳の私立大學出も尠くないがまた各種ひの人々をも網羅して居る是等の業生は鮮銀に入るや否や誰れでも先づ計算課に勤めて一通り計算課の稽古をやらせられる、算字の稽古をやらせられる、算字と云つても專ら1234の記帳用數字を學ぶのであるが、此所で先づ文字の書き方からして其の銀行の氣分に同化させられる譯である、その次ぎは各自に預金、貸付、割引等各係の事務を見習つて猶ほ銀行でやかましい各種の記帳法を學ぶ順序となるが例の金網窓口に起つて店に來る御客と應對するやうになれば先づ

◇立派な一人前　▼の銀行員になつたと云ふべきであらう、鳥渡斷つておくが鮮銀では窓口に起つ人が相當な地位にある人なので普通御役所などの窓口係りとは反對であるから左樣御承知を願ひたい、それから次ぎは課長になるとか各地支店の支配人になるとか其の當人の腕次第だけれども要するに銀行には高等文官試驗はないのであるから勸勉にして働けば漸次に繰上りが能きる譯だ、併し今云つたのは主として營業課のはなしであるが他に國庫課、秘書課、調査課、檢査課などの方でも略同じく唯だ出納課だけはあれで特殊の技量が要る、それで先づ當初見習として這入つた人は一二年の間に書記補となりそれから次に書記となり副司事となり司事となるのであるが普通書記となれば

◇妻君を貰つて　▼新家庭を作るやうである、月俸は帝大出の法學士で初め六七十圓、本俸の他に在勤手當、社宅料、半期賞與が貰へるから俸給取りとしては下の部では無からう、しかし小學、中學、高等學校大學と七八つの頃から廿四五まで勉強して俸給取りも感心したものでは御坐らぬまあ獨立のやれる人なら一本立ちになつて限ります（黒テクタイ生）

# ◉健康長命の秘訣はこれに限る
## ＝若い時は痩せ男、今は體量廿三貫の大男＝
［鐵道局技師鐵道學校教授　高井直貞氏談］

世間の人は何うも自分の胃を尊重する事を知らぬ、胃の腑は身體の一番中央に在て最も大切な所であるから

□長命を欲する人　はせひ自分の胃を可愛がらなければならぬ、習慣に因はれた世間の人は毎日欲しくも無い時に食事をとるがこれはいけない事である、食物は兎角自然が要求した時にとるべきで充分お腹の空いた時ゆつくり咀嚼して喫べたなら乾度そのものが完全な滋養分となる、私は嘗て米國人チャールス、ハスケル氏の『パーフエクト、ヘルス』と云ふ書物を讀むで以來十數年間

□一切朝飯を廢し　て居る、そして午過ぎ頃當に饑じくなつた時ゆつくり咀嚼して喫べて居るがお蔭で見かへる程に肥つて非常に健康體となつた、また食事の時には一切湯水を用ゐない、斯くすると何んなものでも美味くてそのまゝ肉になるやうである、よく世間では多く喫べなければ衰へるといふやうな恐怖心を有つて居るがこれはつまらぬ考へである、要はたゞ

□充分に咀嚼して　立派な唾液を造るにある、私は此の簡單で而も平凡な健康法を誰れにもすゝめてみて居るが長命を欲せらるゝ方はせひ試みて見られたい＝因に氏は關屋學務局長なぞと同期に大學を出た文學士で體量廿三貫匁旭町一丁目百十四番地に居られる


**京日案內**

普通（一回金三十錢（無割引））（匿名一回増に金五十錢増）

▲手助女を求む　十七歲前後勞働家族同樣　眼はゞ勉學の志ある薄命者、待遇よし　電二一七七番　2

自轉車職工及見習生至急入用本人來談あれ　京城南大門通り三　◉電話二三一〇番　ツヅキ商會　490

朝鮮語官廳受驗講義錄全部七冊金一圓九十錢送料十四錢　京城旭町二　電一二五◯　朝鮮語研究會　498

▲學生諸氏　▲前學期分の御不用の教科書類高價買入　京城本町二丁目　電話二五二七　ウツボヤ書店　453

◉古本買入　電話八六五　▲▲御報參上　地方送金　京城本二　森田文光堂書店　561

◉古本から野村　京城本町一丁目（明治町筋）　電二六三番へ　野村書店　464

今！今◉すぐ申込まれよ今！今◉　新聞雜誌巡廻讀會　京城本町一の四九　◉（電一三七八）◉松井松榮堂　8

▼店員入用　年齡廿歲前後の者市內に確實なる保證人を要す　京城本町一　電話一一二　日下部賣場　7

番外（一回金六十錢無割引）（匿名一回増に金五十錢増）

藥學講習所生徒募集　受附三月卅一日迄延期す此際至急申込あれ規則書は市內有名藥店にあり　長橋通長薰學校內に於て夜間教授　490

▼鑛物各種分拆　京城太平町二の二五　坂本分拆所　493

▲全部空氣輪揃　乘心地の良い空氣輪　同じ賃金で　內小門通　電二七七三　一進組車帳場　477

◉湯屋讓り渡す　門外最も有望の地　希望者は湯屋組合事務所へ來談あれ　電話一千六百三十八番　479

カナアミ入タイヤ　實用向經濟を重ずる方は御試用あれ　京城南大門驛前　自轉車自動車諸機械　房崎工場　481

貸家屋　495

產婆、マッサージ　南山町一丁目消防詰所前に轉居　電話二二〇三番　三浦小糸　497

貸自働車　京城本町　◉春川發午前七時　◉午後二時　電話二三三八　支配人松田壽男　春木自働車商會　591

クリーム　ヤラメル　大拾錢　小五錢　パン　元祖木村屋支店　京城明治町　電話二八七　457

◉支那語朝鮮語　新學期開始自四月一日午後七時　京城本町支那領事館前　△電八六九　華商總會內　支那語研究會　4

▼電話ユヅル（但し京城）　相當附金の利便あり　御希望の御方は龍山電話二四六へ御來談を乞ふ　5

株　◉公債株　◉現物問屋　世界は空前の大戰爭　富豪となるは今株式戰　京城本町二丁目　電話九九三　田中友吉商店　3

店員募集　要保證人二名　直接面談あれ　京城本町三丁目　糧食雜貨店　森川　6

內科　小兒科　入院隨意　京城明治町（元善隣學校跡）　中島醫院　院長　中島貞信　電話三七八番

登錄商標　大陽　タキツケ　一手販賣申込…府縣市に各一名を限り先著より契約す　往復はがき　見本並保證金資本を要せず　◦化學應用マツチ一本で燃付く　◦經濟衞生　便利無臭火の用心　▲內地は勿論海外に於て好評を蒙り好良賣行日本一　一個一厘　製造發賣元　公萬屋

各種石鹼　浦本石鹼工場　京城南大門側消防詰所隣　電話二二九四番　振替京城三三九番

日韓書房　新版報告
內田魯庵著　きのふけふ　定價一圓四十錢　送料十錢
田口弼一著　小學校教科書に表はれたる法制經濟の教授法　定價九十錢　送料八錢
佐々木十九著　模範小賣店經營法　定價八十錢　送料八錢
石黒專之助著　通俗家庭醫典　定價三圓　送料十六錢
大町桂月著　儀式書翰文　定價一圓五十錢　送料十二錢
京城本町二丁目

內科胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　石川淳夫　電話專用二七二九番　三三九番

グラス萬年筆　朝鮮總代理店（目錄進呈）　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五〇二七七四　振替京城三五六　特約店　京城本町二丁目　町田商店

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎　株式會社　百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話長五八番・一九四番　振替貯金京城一一三番　銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店　發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番

婦人科　產科　入院分娩應需　京城旭町壹丁目　院主　衣笠茂　中央婦人病院　（電話二三四〇番）

# 千生瓢 (168)

須藤南翠作　筒井年峰畫

## 決斷 (五)

三河の國刈屋の城主、水野惣兵衛忠重は、右衛門大夫忠政には次男、下野守信元の舍弟である。縁よりいへば、徳川参議家康の外舅であり、恩よりいへば備後守信秀の時より、織田方に隨身して、現に刈屋の城は、信長より忠重に與へたものであるから、何れの方面より觀るも、北畠殿の味方たること、疑ひもなき者であるのに、三月五日に及んで、不思議な密旨に接したのであつた。

忠重は早速一子藤十郎勝成を閑室に招いて、只父子二人相對した。

『藤十郎、今日は我家の興廢に關はる大事を相談するぞよ。能く性根を据ゑて、乾度返答さつせへ』

忠重は力を籠めた拳を、膝の上に突き立てゝ、きつと倅を視た。勝成も確りとした調子で、

『畏まつておざる。先づ仰せられませ』と促がした。

『語るは、聽きやれ。羽柴筑前殿、今度北畠殿と矛盾に及ぶべきに依て、我等父子に與力せよと申し通じられたぢや。此事何と致さうな』

『其御返答致す前に、伺はうづる事おざる。我等には從弟におざる徳川殿、何れの與力致さるゝか。それ確に承はりたい』

『やあ藤十郎、徳川は徳川、我等は我等ぢやよ。若し與力申すに於ては遠三兩國を與へやうとあるわ！』

『何、遠江三河兩國の太守となるやまで』

『あゝ其處ぢや。分別は其處ぢや』

忠重は遮さず附け込んだが、勝成は厚子を膝に立てたまゝ、目を瞑つて静かに熟慮を凝らしてゐた。

忠重も瞬つめた眼を鎮うして、是れも俯に沈思に入つた。父子相對して一諾なく、默々として目を瞑れば、恰で無人の室であつた。

執次の侍が密と襖の外まで來て、

『殿、御坐ありまするか。只今長島より急使おざりまする』と、襖越しに申し立てた。

忠重はくわつと眼を睜らいて、

『北畠殿御使、何とある？』

『発させられませ』

侍は襖を開いて、此處に首を低げた。

『早打を以て申し入れられまする、岡田長門守重信、羽柴方へ内應の逆意露顕に及び、御誅戮を加へられ畢んぬ。然るに、舍弟一族累代の家人を催し、星崎に籠城致いて、逆亂に及ぶの間、御許より勢を出いて、一時に御落し下さるやう、偏に頼み申し入る。申すまではおざらねど、今度の一議、徳川殿には織田殿の盟約を守らせ、我等御加勢事極つておざるとの事おざりまするが』

使者の口上洩るゝ方なく言上したが、其舌の終るや否や、勝成は目を開いて膝を揃つて。

『遠三兩國は欲うおざらぬ、唯だ欲いのは義おざる。大義おざる。名分おざる。父上、藤十郎に勢少な附け下され、直ちに驅せ向つて、星崎を落し申さう！』

『流石は吾が子ぢや。能くぞ分別致いた。其方遠三兩國に心惹かれて、如何なる所存あらうかと存じたに、それ承はつて安堵致いた。遠三兩國の引出物、我人に出るかも知れぬわ、仮様な肴餌に目をかけず、義の途に一國に違まう』と、忠重は侍に向ひ『乾度御使者に申さう、忠重父子驅せ向つて、道付落城させ申さう、必ず御配慮御無用と、た』

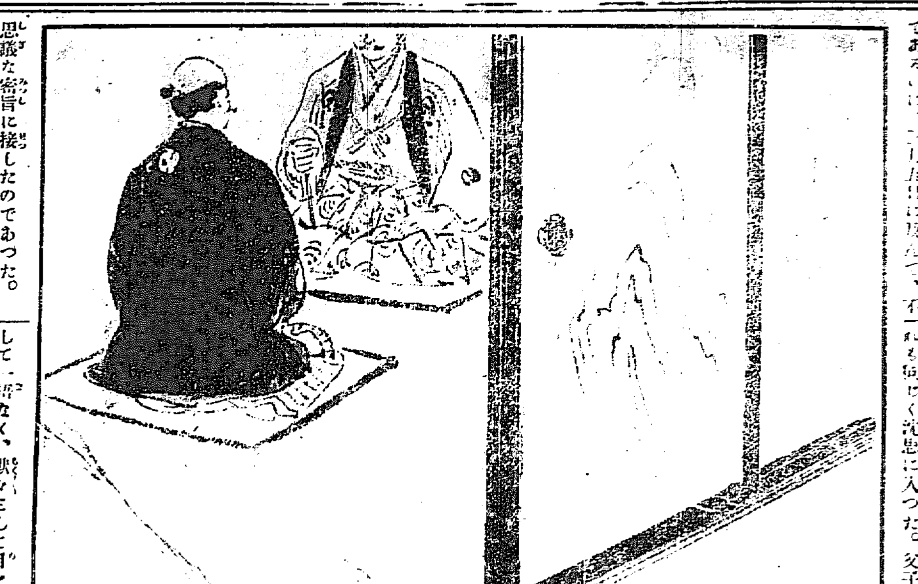
『はッ』

侍が立上るを、重ねて呼かけて

『郡奉行に申し付け、即刻出陣の用意させい！』と命令した。

是れを手合せの初戦と心得、揉みに揉んで驅け向ひ、短兵急に攻め立てたので、岡田勝五郎等、一時に必死となつて防戦に努めたが、鐵砲を打かけ、火箭を飛ばして、城内の小屋を燒き立てられ、猛火黒烟渦卷上れば、所詮防戦刀及ばず、坂井、前川、天野、吉多野、山口等の宿將も容易く落城に及んだのである。

刈安賀城の淺井が郎等は、星崎の陷落とともに、一戦までもなく城を棄て、雲散せたので、月の六日、松ヶ島く城を開いて、伊勢尾張は鎭定した。



婦人科 産科　京城壽町四一　二宮醫院　醫學士 二宮亮吉　電話一三〇一番

### 霧(二)　オンドル會詠草

朝霧に浮く望樓を旭の染むる　鶴原
霧夜毎棧打てる木犀の家　同
街の雜音懷れ霧に待つ渡船　同
牛車並ぶる驛霧に暮く灯　同
焚火して夜霧に兵を迎ふ町　同
家並暗き港の夜霧海鳴りて　同
郵便夫の赤灯が霧深き町を　同
霧罩めて鈍き陽に騷く川よ　同
艦頭に殘る河口や朝の霧　同
絲瓜棚に霧降りて廚洩るゝ灯が　同
霧垂れて灯暗らき温突の町　逸鹿
授業始めの鈴響く高臺の霧　同
芥田なる町尽の霧を走る汽車　同
笛不足の艦隊淋し霧の町　同

火事

火事を見入る船人に出船迫る潮　文而玉
甍火事の粧飛ぶ洲尻鴫浮ける　同

□へ手會句錄(第五會)(三月十八日)

栗の花

栗の花の只盛を明屋敷　臥牛
こぼれ栗種嗣近に花太る　荒村
栗の花レール片下て川に沿ふ　一歩
迎ひ出する妻庭畑の花栗咲く　柳風
栗の花や塚古りて皆の反れ巻ける　江秋

雲雀

麥笛に調子上げたり揚雲雀　共右
支那雲雀紅紙毬もて籠を鳴り　芳村
薄日霽れの雲雲雀鳴き消えり　黄丘

■信仰の歡び(一)　浮碧樓

木の芽

信仰つよければありきけり木の芽張る
木の芽いちどき家建て貸さうる
木の芽時の一人居て寂掃除する
木の芽ほのめく酔をかさねし眼に
屏風に袖さらさら鉢木は芽かな
木の芽風せり鷲蘆の匂ひ
補屋に用のあり木の芽時の芝に

### 新刊紹介

●家庭教育の好師友『婦女界』の春季特別號は家庭教育號と題し[illegible]
●婦人之友の安價生活號　婦人之友四月號は安價生活號と題し[illegible]
▲御札所と東海道　[illegible]
▲禪の研究　[illegible]
▲陶園要覽　[illegible]
▲人文(二の四)　十四錢東京市[illegible]
▲東華評論(一〇二)　十錢[illegible]
▲安東商業會議所月報(二の二)　非賣品安東商業會議所
▲樂石叢書(三四)　二十五錢東京府下豐多摩郡千駄ヶ谷町五二四[illegible]
▲隨鴎集(一三七)　[illegible]
▲向上(一〇の四)　十五錢東京市淺草區南元町二八修養團本部
▲世の中(二の四)　[illegible]
▲闇黒中の定石　[illegible]
▲ミツワ文庫(三五)　十錢東京市日本橋區[illegible]
▲英語精粹(二の四)　[illegible]
▲日本一(二の四)　[illegible]
▲列傳シクジリ代議士　[illegible]
▲朝鮮之副業(三)　朝鮮産業の開發を圖り[illegible]
▲滿蒙研究彙報(三)　[illegible]
▲拓殖新報(三月號)　[illegible]
▲婦人世界『四月號』　[illegible]

ミツワ文庫(五〇三)

# 大久保彦左衛門の奇行

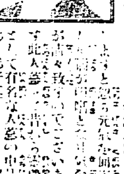
長刀の中身を出でて[illegible]

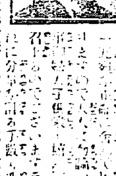
松本幸四郎談

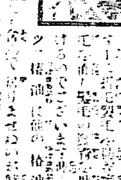
大久保彦左衛門忠敎は[illegible]

[illegible]ので扶持に離れた浪人武藝者など[illegible]の始末に食客は常に二三百人位絶えず屋敷の中にごろ〳〵して居たさうで從つて三千石位な小禄ではとても賄ひが立たずいつも貧乏してゐたさうでございますが彦左衛門は否んな氣なもので其んな事は些とも意に介せず薄汚い衣服を著けて平氣で登城致して居たさうでございます。家康が死する時に嗣子秀忠に遺言しまして向後師父の禮を以て彦左衛門を遇せよとありましたので夫以來所謂我儘御免で元來が奇行に富んだ彦左衛門の事ですから以後は羽目を脱しての我儘勝手の仕放題に將軍家を初めとして大名小名を隨分と凹されたものです。彦左衛門の長刀は數度の合戰に武勳を立てた自慢の劍で登城する度に誰彼となく見せびらかしては得意になつて居りましたが或時又此劍を出して並居る閣老を揶揄つて馬鹿にしましたので一座の面々ぷん〳〵怒つたが何しろ我儘御免の彦左衛門の事ですから如何する事もならずそこで將軍家光公に上申して彦左衛門の刀を短くするやう

[illegible]衛門を呼寄せて笑ひながら爺の刀は戰場に用ゐたものかとお尋ねになると彦左衛門は形を改めて此刀こそ讀みたる天神の合戰以來家康公を輔佐し奉つた奇代の業物であります御前は短くしろと御命じあつたが刀は武士の魂でありますから如何考へても其中身を切るに忍びず已む事を得ず鞘だけを切つて短くしましたと答へたので家光は怒もならず二尺三寸の長光の名刀を賜つて以後此刀を佩けと仰せられたさうでございます。彦左衛門は又諸侯の驕奢を制せんとて邸宅の普請に托けて本願寺を毀しぶら下げて棵馬で諸侯を訪ね廻つて寄附を強請するなど實る事が尤て人の意表に出て居ります。彦左衛門は家康、秀忠、家光の三代に歴仕して寛永十六年三月晦日年八十で沒しましたが此人ぐらゐ奇行に富んだ人は一寸珍しうございます。[illegible]





▲市川新十郎曰く　[illegible]

▲阪東秀調曰く　[illegible]

[illegible]間の信用が篤い結果其信用に悖るまいと努めて居るのと同じなのでございます。職中同店發賣のミツワ石鹸は皮脂の分泌量の多い日本人の肌に適ふやうに精製したものでありまして專門家のお話に依りますと遊離脂肪、遊離アルカリもなく夾雜物がない石鹸は只化學上の純石鹸だと云ふだけでございますが理想の石鹸は化學上の純石鹸であります上に原料に優良な脂肪を用つて皮膚に適ふ石鹸でなければならないのださうでございますがミツワ石鹸は化學上の純石鹸でありますのみでなく理想の石鹸として有名なもので掌に塗つた時の泡の立具合と言ひ洗ひ落す時の落ち加減と言ひ之位心地の良い石鹸はございません。


仁川米豆取引所

天阪二品

◉吉林境界劃定

では水面の所轄に關し屢々両國[illegible]


愚息長生儀病氣の處養生不叶本月廿九日死去致候此段生前御厚情を蒙りし方々へ謹告仕候
大正五年三月廿九日
土井芳輔

勝木作治郎儀病氣の處[illegible]本月廿八日死去致候[illegible]
大正五年三月廿九日
妻 勝木こと
親戚代表 友人 池田長兵衛

父良助儀豫て病氣の處本月廿八日死去致候[illegible]
嗣子 田中良一
友人 河野竹之助
高杉昇
總代 村谷吉藏
吉金喜三郎

質　京城黄金町二丁目(永樂町停留所北入)　堀佐營業所　(電話六三九番)

## 尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　三月　日後四時出帆
大代丸　四月　日後四時出帆
神龍丸　四月　日後四時出帆
君が代丸　四月　日後四時出帆
仁川港町二丁目 電話五十九番　高杉回漕店

## 大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
天草丸　四月十日　午後五時出帆
宮島丸　四月七日
木浦、群山、長崎行
信濃川丸　四月五日　後二時出帆
鎮南浦、大連行
信濃川丸　三月三十一日　後二時出帆
大阪直航
安東丸　四月二日　後五時出帆
大連直行
福州丸　四月三日　正午出帆
潮州丸　四月十五日
群山、釜山、陽濱行
湖州丸　四月二日　午後二時出帆
清津、浦潮行(元山出帆)
須磨丸　三月十三日
高砂丸　四月十五日
平安丸　四月十五日
上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸　四月一日　後十時出帆
新高丸　四月十二日　後四時出帆
仁川切符發賣所 電話二番二〇番 五五〇番　大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所 電話七〇八番　内國通運會社支店

## 朝鮮郵船

全羅丸　四月十二日
成鏡丸　四月二日
黄海丸　四月六日
京畿丸　四月十六日　釜山着
慶尚丸　四月三日
平安丸　四月一日
咸鏡丸　四月七日　元山着
忠清丸　四月十二日　元山發
平壤丸　四月六日
永興丸　毎月廿八回　元山發
江陵丸　毎日
盛德丸　四月四日　釜山發
江原丸　四月七日　仁川發
宗信丸　四月五日　仁川發
公州丸　四月四日　木浦發
慶興丸　四月一日　木浦發
公州丸　四月一日　木浦發
順天丸　三日目毎　木浦發
統營丸　毎日　釜山發
濟州丸　四月五日　釜山發
三浦丸　四月五日　釜山發
鎭海丸　毎日　釜山發
平安丸　四月五日、十八日　群山發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸　毎日午前　仁川發
滄水丸　四月一日
麗州丸　四月七日　仁川發
本社 電話五一九五番 京城南大門驛前 松原運送店

## 汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
立神丸　四月九日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行
立神丸　三月三十日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸　三月日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行
小倉丸　四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　三月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　四月八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天兵丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
本船取扱店 大池回漕部

## 日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行
三河丸　四月廿一日　正午出帆
相模丸　四月四日　正午出帆
高砂丸　四月十日　正午出帆
仁川港町一丁目 電話十一番　堀回漕部

## 共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行
共同丸　四月二日　後二時入港　四月四日　前九時出帆
城津、清津、浦潮行(元山出帆)
第一興鶴丸　月　日　後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三治丸(元山出帆)　月　日　前八時出帆
同盟回共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店